

西アフリカの地域経済統合の成り立ちと現状|Two Economic Integrations in Western A f rica : The Origins and the Current Situation

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/17501

西アフリカの地域経済統合の成り立ちと現状

正 木 響

1. はじめに
2. 成り立ち
3. ECOWAS諸国の貿易相手国と域内貿易依存度
 - 3・1 データと算出方法
 - 3・2 結果
 - 3・3 考察
4. 関税同盟に向けての動き
5. 通貨同盟に向けての動き
- 総 括

1. はじめに

西アフリカには、西アフリカ経済通貨同盟 (UEMOA: Union Economique et Monétaire Ouest Africaine)¹、西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS: Economic Community Of West African States)、マノ川同盟 (MRU: Mano River Union)²、協商会議 (Conseil de l'Entente)³ など、いくつかの地域協力機構が存在するが⁴、なかでも、フランス植民地時代に礎が築かれたUEMOAと、1975年に設立され、経済面よりもむしろ政治安全保障の分野で一定の成果を出してきたECOWASが重要な組織になる。ところで、この2つの地域統合は、図1にみるように、前者のUEMOAが後者のECOWASにすっぽり含まれるという2重構造を呈している。つまり、後者のECOWASは、Appendix VIIにみるように、総人口約2億8000万人、域内総生産約2057億ドルの経済圏になるが⁵、国が独立する以前から形成されていた共同体を引き継ぐことで構築された経済通貨

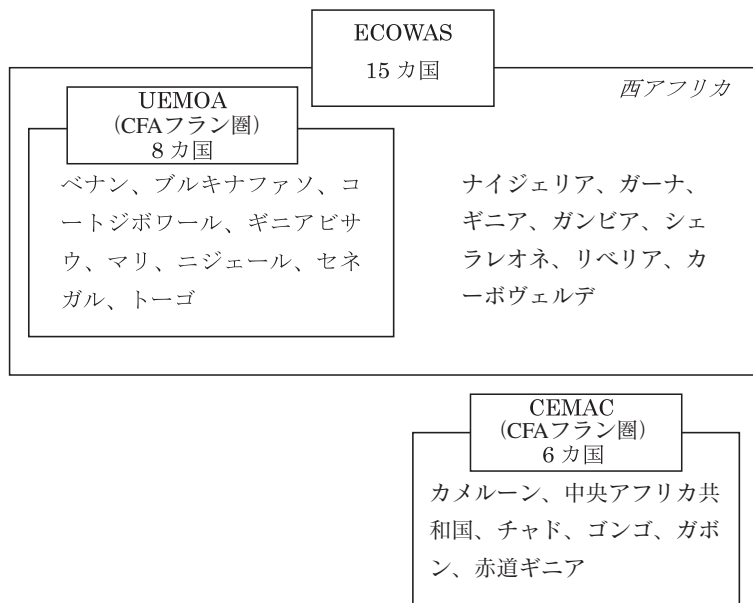


図1 2つのCFAフラン圏と西アフリカの2つの地域統合(2008年)

同盟UEMOAとそれ以外の西アフリカ諸国が混在しており、長らく加盟国とよりも旧宗主国との経済的繋がりが強く、アフリカ諸国間での経済圏形成においては期待されるほどの成果をみせてはこなかった。

西欧諸国の植民地下に長らく置かれていたアフリカは、結果はともあれ、独立当時より、アフリカ諸国間での連帯や地域統合に強い意欲を示してきたが、その成果は主として政治的な場面で発揮されるに留まった。本研究の目的は、21世紀に入って、急速に進展しつつある世界的な動きを踏まえながら、西アフリカでも本格的に始まりつつある地域経済統合の動向をまとめることである。

以下、まず第1節で、これら2つの地域統合の成り立ちを整理し、続いて、第2節で、1972-2006期間を3期にわけてそれぞれの域内貿易比率を算出することで、域内貿易の状況を過去と比較しながら検証する。もっとも、地域レベルの域内貿易比率については、各組織が発行するレポートや既存研究で既になされている。本稿がそれらと異なるのは、単に地域全体の貿易比率を

求めるのみではなく、1972-2006までの各加盟国の域内貿易構造に踏み込みながら、その特徴と構造的な変化を明らかにするところにある。結論を先に述べるなら、ECOWAS地域の域内貿易依存度は時間とともに輸出・輸入のどちらにおいても上昇するが、2002-2006期間においても総貿易額の約10%と決して高くはない。その理由として、関税同盟がまだ不十分にしか機能しておらず、ECOWAS全体で通貨同盟が実現していないことを指摘する声も大きい。そこで、第3節、第4節において、関税同盟、通貨同盟それぞれについても、2008年現在の取り組みとその進捗状況をまとめ、最後に、西アフリカの地域統合の今後の展望をEUとの関係を踏まえて論じたい。

2. 成り立ち

UEMOAの成り立ちと概要については、拙稿(1997)(2008)にて既に触れているが³、1895年、フランスによって形成された植民地、フランス領西アフリカ(AOF:Afrique Occidentale Francaise)が基盤となる。フランスは、19世紀半ばより、各植民地に植民地銀行を創設し、そこに当該地域のみで流通可能な通貨フランの発券業務を委ねた⁴。これらの植民地で発行された通貨フランと本国フランの兌換性については、筆者はまだ十分に把握しきれていないが、フラン圏が形成された1939年以降は、本国フランと等価で交換されるようになる⁵。しかし、第二次世界大戦が終了し、ブレトンウッズ会議でIMFの設立が決定すると、フランスは、自国通貨フランを一定レートでドルに固定させる必要にせまられる。当然のことながら、フランス本国にとって好ましい通貨価値はアフリカ諸国のそれとは異なる。そこで、IMF協定に署名する2日前の1945年12月25日のデクレで、翌日26日より、フランス領アフリカ諸地域に⁶、フランス植民地フラン(CFAフラン:Franc des Colonies Francaises d'Afrique)を導入することが宣言された⁷。なお、このデクレを発布したのは、暫定政権で大統領を務めていたシャルル・ド・ゴールである。

この1 CFAフランの価値は、1948年10月には、2 本国フランに調整されるが⁸、その後、1994年1月までの約46年間、CFAフランとフランスフランとの交換比率は一度も見直されることはなかった⁸。もっとも、その名称や共通通

貨を共有する地域は、以下にみるように幾度となく変更されている。まず、1958年、既に引退していたシャルル・ドゴールが³、アルジェリア戦争および政治混乱の收拾をはかるために請われて再び政界に復帰し、第5共和制憲法を發布した。この第5共和制憲法の第12章には、「フランス共同体」の項目が設けられ、それまでフランス統治下にあった海外領土に、独立か、フランス共同体という枠組みにとどまってフランスとの紐帯を維持するかを選択を、第5共和制憲法承認の国民投票に委ねた。結果は、「隷属の中の豊かさよりも、自由の中の貧困を選択する」という、後世に語り継がれる名言を残したセク・トゥーレ(Ahmed Sékou Touré)率いるギニアと、あえて自治権を求めず、フランス共和国における海外領土を選択したソマリ海岸2地域を除く12海外領土⁹で可決され、フランス共同体が形成された。つまり、大半のフランス領アフリカは、旧宗主国との垂直的連携を維持し、その関係の中で、旧宗主国から自治権を付与される形を自ら主体的に選択したのである。植民地からフランス共同体の移行に伴い、CFAフランの正式名称はフランス共同体フラン(Franc de la Communauté française d'Afrique)に変更され、1960年、アフリカ諸国の独立の際には、西アフリカ地域で用いられるCFAフランについては、アフリカ金融共同体フラン(Communaute Financière Africainé)、中部アフリカ地域については、中部アフリカ金融協力フラン(Coopération Financière en Afrique Centrale)へとさらに名称を変更し、それぞれの通貨を用いる地域も複数の独立国家で構成されることとなった。つまり、一つの通貨を用いていた地域が³、独立とともに、西アフリカと中部アフリカに二分されはしたが、独立後も大半の国は独自の法貨を創設しなかったことから、結果的に二つの通貨統合が形成されることになり、先の図1にみるように、現在の西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)および中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)の母体となったのである。

次にECOWASについてみてみよう。英領を含む西アフリカ全体の地域経済協力機構設立の動きが始まったのも独立直後の1960年代である。最初にそのイニシアティブをとったのは、西アフリカで唯一、西欧諸国の植民地支配を受けなかったリベリアのウィリアム・タブマン(William Tubman)大統領であった。彼は、1964年1月、その就任演説のなかで、西アフリカに自由貿易地域を創設するという構想を明らかにしている。これに呼応するかのように、

国連経済社会理事会の下部機関として設置された国連アフリカ経済委員会 (Economic Commission for Africa) において、南アフリカ共和国を除いたアフリカ大陸を、北アフリカ、西アフリカ、中部アフリカ、東南部アフリカの4つに分けて経済協力を推進する地域経済圏構想が計画された。具体的には、各地域に地域協力機構を設置して共同市場を創設し、それらを統合して、最終的にはアフリカ全土の経済統合を目標として掲げるものであった。これに基づき、1965年には、ニジェールのニアメに独立14カ国を召集して西アフリカ経済共同体構想が提示され、1968年には共同市場設立をめざす西アフリカ地域グループ (West Regional Group) 形成の合意がなされている。もっとも、その直後に、ナイジェリアのピアフラ州の独立を巡ってナイジェリアとコートジボワールの対立が表面化したことから、西アフリカ全体の地域統合に向けた作業は一時中断を余儀なくされるが¹⁰、ピアフラ戦争終結後、近隣諸国との外交関係の重要性を改めて認識したナイジェリアと、近隣諸国と良好な関係を構築していなかったトーゴのリーダーシップによって、1972年4月、西アフリカ経済共同体 (West African Economic Community: WAEC) の萌芽を形成することが発表され¹¹、その直後、両国の閣僚級代表が西アフリカ諸国を歴訪して各国政府にWAECへの参加を働きかけ、結果的に、これが1975年のECOWAS (Economic Community of West African States) 設立に結びつくことになった¹²。原加盟国は、ナイジェリア、ガーナ、ギニア、ガンビア、シエラレオネ、リベリア、モーリタニア、ダホメ (現ベナン)、オートボルタ (現ブルキナファソ)、コートジボワール、マリ、ニジェール、セネガル、トーゴの15カ国である。これに、1977年、カーボヴェルデが新たに加わるが、他方で、1999年12月に、モーリタニアが脱退を表明したことから、現在のECOWAS加盟国は設立当時と同じ15カ国のままである。

ところで、こうしたナイジェリアの強いイニシアティブの背景には、以下にみるように、ナイジェリアの西アフリカでの経済的覇権拡大の意図があったとの指摘もある。Bach (1983) は、旧仏領のセネガルやコートジボワールで工業製品を製造するフランス系企業と西アフリカ市場で競合関係にあったナイジェリアが、旧仏・旧英領を包括的に取り込んだ西アフリカ地域経済統合の実現によって、旧フランス領アフリカのフランス離れが促され、西アフリ

カのヨーロッパ依存が弱まることで、域内で比較的工業化に成功していた自国の覇権拡大を期待できると考えていた節があることを指摘している¹³。実際、こうしたナイジェリアの意図を警戒して、旧フランス領アフリカ諸国は、ECOWAS設立前年の1974年に、フランスの後押しを受けながら経済共同体CEAOを設立している。それにもかかわらず、旧フランス領アフリカが、翌年の1975年5月にECOWAS協定に調印した背景には、同年2月にヨーロッパとの間で結ばれたロメ協定の存在を指摘する声もある(Bach : 1983)¹⁴。

本稿で繰り返し述べているように、フランスと旧フランス領アフリカは、独立後も植民地時代の紐帯を強く維持するとともに、フランス自身は、米ソに対抗する第3勢力として、ヨーロッパ諸国との連帯も模索した。この結果、1957年にローマ条約が締結され、翌年1月1日にEECが発足したが⁵、この時、フランスは、加盟国と特別の関係を有する海外の国および領域に積極的にEEC市場を開放するように働きかけ、1963年7月には、旧フランス領アフリカを中心とするアフリカ18カ国とEECとの間で、ヤウンデ協定を締結させることに成功している。ヤウンデ協定は、EECとアフリカ諸国との間で貿易の自由化を推進し、前者から後者への開発援助も規定しているが⁶、対象となるアフリカ諸国の大半は旧フランス領アフリカであった。つまり、これにより、フランスは、植民地時代から継続するフランスー植民地関係の枠組みを、EECレベルに拡大することに成功したのである。

これに対し、旧英領アフリカ諸国は、英国がEEC加盟国でなかったこともあり、ヤウンデ協定で規定された便益を受ける立場になかったが⁷、1973年1月、英国がEECに加盟したことから状況は一変する。具体的には1975年2月、ロメ協定の締結により、これまで主に旧仏領アフリカ諸国に限定されていたヨーロッパのアフリカ支援(ヤウンデ協定)の対象が旧英領植民地を加えたACP諸国45カ国に拡大されたのである¹⁵。これにより、旧英領西アフリカも、フランス領アフリカ諸国と同様の便益をEECから享受することが可能となり、また、旧フランス領アフリカにとっても、ECOWAS協定の第79条で、他のサブ・リージョナルな地域統合への参加を認められたことから、ECOWASに参加することの障害が取り除かれることとなった。

ECOWASは、「加盟諸国国民の生活水準の向上、経済的安定の追及、加盟

国間の緊密な関係の構築，そしてアフリカ大陸の進歩と開発のために協力及び開発を促進すること」を設立目的に掲げており，その手段として，バラッサの経済統合の理論やEUが実際に辿った地域統合の発展段階に沿って，加盟国間の関税・非関税障壁撤廃(1985年目標)，関税同盟(1990年目標)，共同市場，そして共通通貨の創設を謳っている。しかし，予定されていた関税同盟は，目標年にはその兆しすらみせず，地域内交易も期待されたほどの進展を見えなかった。そこで，その原因を，域内貿易の構造変化と各加盟国の貿易構造に踏み込みながら次節で確認したい。

3. ECOWAS諸国の貿易相手国と域内貿易依存度

3・1 データと産出方法

ECOWAS設立前後から2006年までのデータのうち，短期的な要因が強く影響しないよう5年ごとに，第Ⅰ期：1972－1976，第Ⅱ期：1987－1991，第Ⅲ期：2002－2006の域内交易依存度をそれぞれ輸出と輸入について求めた。データは，第Ⅰ期については，*Direction of Trade Statistics Historical*，第Ⅱ期と第Ⅲ期については，*Direction of Trade Statistics* (共にIMF発行)を用いた。近年，アフリカのデータもかなり整備されてきたが，1970年代，80年代のものについては，漏れが多いことも否めない。また，当然のことながら，途上国で頻繁に観察される密輸のデータもここには含まれていない。したがって，本研究で用いる相手国別輸出・輸入額の数字が実態と異なることは十分に予想される。しかし，本研究では，輸出・輸入額そのものではなく，各分析対象国の輸出・輸入相手国(地域)別の交易比率を導出することから，およその傾向はつかめると判断した。

分析対象とする国は，2008年時点のECOWAS全加盟国15カ国になるが，第Ⅰ期については，データの不備から，リベリア，シエラレオネ，ギニア，カーボヴェルデを分析対象からはずしている。なお，これらの国の貿易額は，2006年時点においても相対的に小さいことから，除外することの影響は小さいと思われる。続いて，これら各加盟国の，UEMOA，ECOWAS-non UEMOA¹⁶，ECOWAS各地域に対する交易依存度を求めるとともに，歴史的に繋がりの強い英国，フランス，ユーロ圏¹⁷それぞれの国・地域に対する輸出・輸入比率も算出した。

3・2 結果

算出結果はAppendixの表Ⅰ～表Ⅵのようになるが、それにもとづき、各国のUEMOA, ECOWAS-Non UEMOA, ECOWAS地域に対する輸出入比率を表1, 表2, 表3にまとめている。なお, 表1, 表2では, サブリージョンとしてECOWAS-Non UEMOA地域の各地域向け輸出入比率を示しているが, 表3では, ECOWAS-Non UEMOA地域に替えてECOWAS地域を用いていることに注意されたい。各表それぞれにおいて, 第Ⅰ期から第Ⅲ期までの値を提示し, 第Ⅲ期から第Ⅰ期の値をマイナスした値を増減ポイントとして記した。ユーロ圏の域内貿易依存度は約60%, ASEANのそれも約20%であることを考えると, UEMOAおよびECOWASの値は明らかに見劣りする。以下では, それぞれの結果をより詳細に検討したい。

まず, 表1より, UEMOA地域の2002-2006年の域内貿易依存度は, 輸出, 輸入それぞれ, 13.1%, 9.0%となっており, この30年間で, それぞれ3.8, 3.6ポイント上昇していることが観察できる。なかでも, セネガルとトーゴの第Ⅲ期における対UEMOA輸出比率は24.6%, 37.6%と高い値を示している。このうち, Appendix Vより, セネガルについては総輸出額の14%がマリへ, トーゴについては, その15%がブルキナファソ, 10.6%がベナンへと, 近年, 近

表1 ECOWAS主要各国・地域の対UEMOA地域輸出・輸入比率

(%)

	輸 出				輸 入			
	1972- 1976	1987- 1991	2002- 2006	増減ポ イント*	1972- 1976	1987- 1991	2002- 2006	増減ポ イント*
Benin	9.4	7.3	12.9	3.5	5.0	7.5	9.1	4.1
Burkina Faso	38.0	18.1	7.9	-30.1	19.6	21.5	31.7	12.1
Côte d'Ivoire	8.1	12.1	10.6	2.5	2.1	1.9	0.9	-1.2
Guinea Bissau	1.6	3.9	0.6	-1.0	0.6	7.1	25.7	25.0
Mali	31.5	14.9	2.1	-29.4	20.0	25.3	22.2	2.2
Niger	3.5	3.7	3.2	-0.3	6.9	10.2	15.1	8.2
Senegal	9.3	9.5	24.6	15.3	4.5	5.3	3.4	-1.2
Togo	2.9	6.7	37.6	34.7	2.9	6.8	7.7	4.8
UEMOA	9.2	11.0	13.1	3.8	5.4	8.0	9.0	3.6
Gambia	0.7	0.3	4.3	3.6	0.3	5.9	16.8	16.4
Ghana	0.6	2.3	4.9	4.3	2.0	2.4	5.5	3.5
Nigeria	0.8	3.1	3.5	2.7	3.1	0.6	2.7	-0.4
ECOWAS-Non UEMOA	—	2.6	3.5	—	—	1.5	3.2	—

*増減ポイントは, 第Ⅲ期の比率から第Ⅰ期の比率をマイナスして算出。

小数点第2位以下は四捨五入。

出所: IMFのDTSより筆者作成。

表2 ECOWAS主要各国・地域の対ECOWAS-Non UEMOA地域輸出・輸入比率

(%)

	輸 出				輸 入			
	1972－ 1976	1987－ 1991	2002－ 2006	増減ポ イント*	1972－ 1976	1987－ 1991	2002－ 2006	増減ポ イント*
Benin	8.5	11.6	8.6	0.0	2.4	7.8	7.1	4.6
Burkina Faso	4.2	1.1	6.0	1.8	1.8	2.8	1.4	－0.4
Côte d'Ivoire	0.8	6.2	12.2	11.4	3.6	16.6	22.2	18.6
Guinea Bissau	8.2	1.2	14.9	6.7	0.5	0.4	0.5	0.0
Mali	3.7	0.2	0.3	－3.4	0.2	0.2	0.4	0.2
Niger	24.8	9.1	27.3	2.5	4.8	15.7	8.7	3.8
Senegal	1.3	2.2	8.7	7.4	3.5	5.4	9.9	6.4
Togo	1.1	4.9	20.3	19.2	1.7	3.0	1.7	－0.1
UEMOA	2.3	5.4	11.9	9.6	3.0	9.4	11.1	8.1
Gambia	2.0	5.1	1.9	－0.1	0.1	0.3	0.4	0.4
Ghana	0.7	0.2	1.4	0.7	7.1	13.2	14.6	7.5
Nigeria	0.9	2.3	1.9	1.0	1.9	0.1	0.2	－1.8
ECOWAS-Non UEMOA	－	1.8	1.8	－	－	2.4	3.0	－

* 増減ポイントは、第Ⅲ期の比率から第Ⅰ期の比率をマイナスして算出。

小数点第2位以下は四捨五入。

出所：IMFのDOTより筆者作成。

表3 ECOWAS主要各国・地域の対ECOWAS地域輸出・輸入比率

(%)

	輸 出				輸 入			
	1972－ 1976	1987－ 1991	2002－ 2006	増減ポ イント*	1972－ 1976	1987－ 1991	2002－ 2006	増減ポ イント*
Benin	17.9	18.9	21.5	3.6	7.4	15.4	16.1	8.7
Burkina Faso	42.2	19.3	14.0	－28.3	21.4	24.2	33.1	11.7
Côte d'Ivoire	9.0	18.4	22.8	13.8	5.7	18.5	23.1	17.4
Guinea Bissau	9.8	5.1	15.5	5.7	1.1	7.5	26.2	25.1
Mali	35.2	15.1	2.4	－32.8	20.2	25.5	22.6	2.4
Niger	28.2	12.7	30.4	2.2	11.7	25.8	23.8	12.0
Senegal	10.6	11.6	33.3	22.7	8.0	10.7	13.2	5.2
Togo	4.1	11.6	57.9	53.9	4.7	9.8	9.4	4.7
UEMOA	11.6	16.4	25.0	13.4	8.4	17.4	20.1	11.7
Gambia	2.7	5.5	6.2	3.5	0.4	6.3	17.2	16.8
Ghana	1.3	2.5	6.2	5.0	9.1	15.6	20.1	11.0
Nigeria	1.8	5.3	5.5	3.7	5.0	0.6	2.8	－2.2
ECOWAS	－	8.0	9.1	－	－	9.3	10.2	－

* 増減ポイントは、第Ⅲ期の比率から第Ⅰ期の比率をマイナスして算出。

小数点第2位以下は四捨五入。

出所：IMFのDOTより筆者作成。

隣諸国(特に内陸国)への輸出が相対的に増えていることが示された。他方、その内陸国であるブルキナファソとマリの域内輸出比率はこの30年間で大きく低下している。第Ⅰ期、第Ⅱ期の時点では、両国は共に域内輸出比率の高い国になるが、Appendixにみるように、ブルキナファソにおいてはコートジ

ボワールが、マリにおいてはコートジボワールとセネガルが主要輸出相手国であった。この背景には、当時、技術的な問題から、本来、域外輸出にカウントされるべき数字が隣国を経由した段階で、経由国向け輸出として換算されていた可能性もある。しかし、第Ⅲ期の域内輸出低下のもう一つの原因として、アジア向け輸出が飛躍的に増えていることも指摘される。DOTの原データに遡ると、両国の輸出の60%はアジアに吸収されており、ブルキナファソにおいては中国(総輸出額の30%)とシンガポール(同13%)が、マリにおいては中国(同25%)とタイ(同10%)が主たる輸出相手国となっている。これらの国の主たる輸出財は綿花になるが、繊維製造国であるアジアの国への輸出が増大し、それに伴い、UEMOA域内への輸出が相対的に低下していることが理解できる。

続いて、UEMOA地域からの輸入比率については、ブルキナファソ、ギニアビサウ、ニジェールで大きく上昇していることが理解できる。Appendix VIによると、ブルキナファソとニジェールの主たる輸入相手国はコートジボワールになり、コートジボワールからの輸入増大が、直接、UEMOAからの輸入比率の上昇に繋がっている。他方、ギニアビサウが、第Ⅱ期から第Ⅲ期にかけて、25ポイントもUEMOAからの輸入を増大させているのは、明らかに、1997年にUEMOAに加盟したことが原因と思われる。同国は、2002-2006年時点で輸入の4分の1強をUEMOAから調達しているが、その大半を、隣国のセネガルからの輸入が占めている。なお、DOTの原データによると、ギニアビサウの輸出については、主要輸出品であるカシューナッツおよび落花生の最大顧客であるインドの比率が高く、同国のUEMOA域内輸出比率はほぼゼロである。他方、ECOWAS-Non UEMOA諸国からUEMOA地域向けの輸出比率については、ガンビア、ガーナ、ナイジェリア3カ国共に値が大きく上昇しており、UEMOA地域のギニアビサウ、マリ、ニジェールのUEMOA向け輸出比率を上回っている。他方、輸入については、ガンビアがセネガルからの、シエラレオネがコートジボワールからの輸入増大に伴い値を大きく上昇させている。

次に、表2では、ECOWAS-Non UEMOA地域に向けたECOWAS各加盟国の貿易比率の変遷を示している。本表からは輸出・輸入ともに、UEMOAとECOWAS-Non UEMOA地域間での貿易依存度が高まっていることが観察できる。まず、輸出については、ニジェールとトーゴの当該地域に対する輸出比

率が、第Ⅲ期では、それぞれ27.3%、20.3%と伸びている。前者についてはナイジェリアへの、後者についてはガーナへの輸出の比率が高いことが原因である。また、驚くことに、このニジェールそしてコートジボワールおよびギニアビサウの、ECOWAS-Non UEMOA地域への輸出額は、通貨統合をしているUEMOA地域へのそれを上回っている(表1参照)。他方、ECOWAS-Non UEMOA地域からECOWAS-Non UEMOA地域への輸出比率は、第Ⅲ期でも1.8%と、歴史・制度面から見れば、関係が希薄なはずのUEMOA地域への輸出額の方が、宗主国から同じ言語、制度を継承した地域へのそれを上回っていることを示している。輸入については、近年、コートジボワールおよびセネガルのECOWAS-Non UEMOA地域からの値が相対的に高くなっているが、背景にはナイジェリアからの石油の輸入が大半を占めていることがある¹⁸⁾。また、ガーナについても、ナイジェリアからの石油の輸入増大が、ECOWAS-Non UEMOA地域からの輸入比率を高める要因となっている。こうしてみると、一部の例外を除いて、ECOWAS-Non UEMOA地域と交易を伸ばしているECOWAS加盟国の多くは、ナイジェリアとの交易を増大させていることが理解できる。

続いて、ECOWAS地域内での貿易依存度の変遷と現状を、表3より確認したい。まず、輸出については、大半の国で、第Ⅰ期ないしは第Ⅱ期よりも、第Ⅲ期の方が、域内輸出比率が高くなっている。とりわけ、UEMOA地域の総輸出額の25%がUEMOAを含むECOWAS地域に輸出されており、このうち、マリの値は著しく低いものの、ニジェール、セネガル、トーゴにおいては30%以上の値が示されている。これに対してECOWAS-Non UEMOA諸国のECOWAS地域への輸出は、最大でも6.2%と依然として低く、これに伴い、結局、ECOWAS地域の域内輸出比率は9.1%に留まっている。他方、輸入については、ナイジェリアとシェラレオネを除いた全ての国で域内比率を高めており、第Ⅲ期については、20%前後の値を示している国も少なくない。なお、UEMOA地域のECOWAS地域からの輸入比率は、第Ⅰ期の8.4%から第Ⅲ期の20.1%まで順調に増大しているが、ECOWAS-Non UEMOA地域のそれは、域内の大国ナイジェリアがECOWAS地域からほとんど輸入していないこともあって、全体としては6.3%に留まっており(表5参照)、結果的に、ECOWASの域内輸入比率も10.2%に留まっている。

表4 ECOWAS各国・地域の交易相手 (%)

		輸 出				
		ECOWAS	UK	France	Euro圏 (France含む)	その他
1972-1976	Benin	17.9	4.0	30.6	60.2	17.9
	Burkina Faso	42.2	0.0	25.4	40.0	17.8
	Côte d'Ivoire	9.0	3.2	26.4	64.2	23.6
	Guinea Bissau	9.8	0.8	0.4	85.6	3.9
	Mali	35.2	4.3	23.8	34.6	25.9
	Niger	28.2	0.9	53.6	66.3	4.5
	Senegal	10.6	5.3	50.7	63.4	20.7
	Togo	4.1	0.6	37.1	85.6	9.7
	UEMOA	11.6	3.3	33.1	63.9	21.2
	Gambia	2.7	35.6	19.3	54.9	6.9
1987-1991	Ghana	1.3	16.3	0.6	28.9	53.5
	Nigeria	1.8	14.6	10.3	31.3	52.4
	Benin	18.9	2.3	3.0	31.2	47.6
	Burkina Faso	19.3	1.3	28.2	39.3	40.1
	Côte d'Ivoire	18.4	3.2	13.5	53.5	24.9
	Guinea Bissau	5.1	1.5	4.9	47.6	45.8
	Mali	15.1	1.2	5.8	29.1	54.6
	Niger	12.7	0.2	57.3	63.3	23.8
	Senegal	11.6	1.2	31.4	46.6	40.6
	Togo	11.6	3.8	8.1	38.2	46.4
	UEMOA	16.4	2.5	18.6	50.0	30.9
	Cape Verde	2.5	0.0	0.0	67.3	30.2
	Gambia	5.5	3.5	2.4	45.7	45.3
	Ghana	2.5	16.9	2.0	45.2	35.4
	Guinea	0.6	3.0	8.1	55.6	40.8
	Liberia	0.3	0.0	0.0	49.8	49.9
	Nigeria	5.3	2.8	6.3	37.6	54.3
	Sierra Leone	0.0	0.0	0.0	57.5	42.5
	ECOWAS-Non UEMOA	4.4	3.9	5.4	40.4	51.3
	ECOWAS	8.0	3.5	9.4	43.3	45.2
2002-2006	Benin	21.5	0.5	2.2	11.2	66.8
	Burkina Faso	14.0	0.2	3.0	12.4	73.5
	Côte d'Ivoire	22.8	2.7	18.6	45.0	29.5
	Guinea Bissau	15.5	0.0	0.1	5.2	79.3
	Mali	2.4	1.9	3.3	18.8	76.9
	Niger	30.4	0.1	39.7	42.3	27.2
	Senegal	33.3	0.6	10.3	27.6	38.6
	Togo	57.9	0.1	2.0	14.7	27.3
	UEMOA	25.0	2.0	15.7	38.0	35.0
	Cape Verde	0.8	10.9	9.6	70.0	18.3
	Gambia	6.2	17.1	9.6	27.8	48.9
	Ghana	6.2	9.4	5.9	37.4	47.0
	Guinea	2.4	5.3	9.1	34.5	57.9
	Liberia	1.1	0.9	3.5	53.1	44.9
	Nigeria	5.5	0.5	4.1	21.0	73.0
	Sierra Leone	1.4	2.7	0.6	74.2	21.7
	ECOWAS-Non UEMOA	5.3	1.2	4.3	23.4	70.1
	ECOWAS	9.1	1.3	6.5	26.2	63.4

西アフリカの地域経済統合の成り立ちと現状 (正木)

		輸 入				
		ECOWAS	UK	France	Euro圏 (France含む)	その他
1972-1976	Benin	7.4	8.9	32.7	51.5	32.2
	Burkina Faso	21.4	1.7	44.7	59.6	17.3
	Côte d'Ivoire	5.7	2.7	40.5	59.7	31.9
	Guinea Bissau	1.1	4.0	2.1	68.7	26.1
	Mali	20.2	1.9	34.9	46.1	31.8
	Niger	11.7	2.3	39.3	53.9	32.1
	Senegal	8.0	1.9	43.1	57.2	32.9
	Togo	4.7	10.3	34.7	59.0	26.0
	UEMOA	8.4	3.4	39.2	57.4	30.8
	Gambia	0.4	24.0	7.4	38.6	37.0
	Ghana	9.1	15.8	4.4	25.0	50.1
	Nigeria	5.0	26.0	4.5	19.1	49.9
1987-1991	Benin	15.4	4.7	19.3	36.4	43.6
	Burkina Faso	24.2	1.6	28.3	42.4	31.8
	Côte d'Ivoire	18.5	2.5	29.5	51.1	27.9
	Guinea Bissau	7.5	1.7	4.8	57.6	33.2
	Mali	25.5	2.9	22.1	39.5	32.1
	Niger	25.8	2.4	28.5	42.1	29.6
	Senegal	10.7	1.8	30.3	49.8	37.7
	Togo	9.8	4.9	31.3	55.2	30.0
	UEMOA	17.4	2.6	27.9	48.1	32.0
	Cape Verde	3.0	2.4	3.5	64.2	30.4
	Gambia	6.3	16.1	7.6	31.5	46.2
	Ghana	15.6	23.0	3.2	30.8	30.6
	Guinea	9.4	3.9	30.7	58.4	28.3
	Liberia	0.4	0.5	3.6	15.8	83.3
	Nigeria	0.6	16.1	9.1	41.3	42.0
	Sierra Leone	29.1	13.4	4.8	31.1	26.4
	ECOWAS-Non UEMOA	3.9	12.2	8.1	34.6	49.4
	ECOWAS	9.3	8.3	16.1	40.0	42.4
2002-2006	Benin	16.1	3.7	14.7	26.4	53.7
	Burkina Faso	33.1	0.6	26.3	39.7	26.6
	Côte d'Ivoire	23.1	3.3	28.1	40.5	33.1
	Guinea Bissau	26.2	0.8	2.9	42.3	30.7
	Mali	22.6	1.1	13.7	25.0	51.3
	Niger	23.8	1.6	14.3	27.3	47.3
	Senegal	13.2	3.0	24.5	43.7	40.1
	Togo	9.4	6.8	13.7	33.5	50.4
	UEMOA	20.1	2.9	21.8	36.4	40.7
	Cape Verde	3.4	1.9	3.3	71.4	23.2
	Gambia	17.2	5.4	3.0	17.6	59.8
	Ghana	20.1	6.3	4.2	22.0	51.6
	Guinea	19.7	0.0	0.3	15.4	64.9
	Liberia	1.2	0.3	2.3	12.4	86.1
	Nigeria	2.8	7.6	5.1	24.2	65.4
	Sierra Leone	10.9	8.9	4.2	35.3	44.8
	ECOWAS-Non UEMOA	6.3	5.8	4.2	22.3	65.7
	ECOWAS	10.2	4.9	9.3	26.3	58.5

DTSより筆者計算

Euro圏とは、Austria, Belgie, Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Luxembourg, Netherland, Portugal, Spain。ただし、Luxembourgについては、1972-1976期間は含まない。

出所：IMFのDTSおよびDOTより筆者作成。

最後に、表4では、調査対象国の交易相手地域を、ECOWAS、英国、フランス、ユーロ圏(フランスを含む)、その他に分けて、それぞれの比率を輸出入別にまとめている。明らかに、第Ⅰ期においては、輸出入ともに、旧英領は英国との、旧仏領はフランスとの交易が大半を占めていたが、第Ⅱ期に入ると、輸入においては、依然として同様の傾向が観察されるものの、輸出については、ガンビアとナイジェリアで英国の比重が、ベナン、マリおよびトーゴでフランスの比重が顕著に弱まり、その代わりに、その他世界の比率が高くなっていることが観察される。そして、第Ⅲ期になると、輸入については、ギニアを除く旧フランス領全てで、依然としてフランス依存の傾向が観察されるものの、輸出においては、ニジェール、コートジボワール、ガンビアを除いて貿易相手地域の多角化がすすんでいる点が観察される。また、明らかに、アジアへの輸出が増えているマリ、ブルキナファソ、ギニアビサウを除いて、UEMOA諸国のECOWAS依存度が顕著に高まっている様子が見られる。

3・3 考察

UEMOAはアフリカ大陸で最も経済統合が進んでいる地域とされるが(Goretti and Weisfeld, 2008)、UEMOAおよびECOWASの域内貿易比率を数字でみると、輸出はそれぞれ13.1%、9.1%、輸入はそれぞれ9.0%と10.2%にすぎず、域内貿易依存度は決して高くはない。しかし、UEMOAはECOWAS地域に内包される完全なサブリージョンになるが、UEMOA諸国の輸出の25%、輸入の20%はECOWAS地域との交易が占めていることが明らかとなった。これは、ASEANの域内交易依存度にはほぼ拮抗する値である。つまり、表5に見るように、ECOWAS地域をUEMOA諸国とECOWAS-Non UEMOA地域のサブリージョンに二分した場合、少なくともUEMOA諸国については、ECOWAS-Non UEMOA地域との交易を伸ばしており、とりわけ輸入については、UEMOA地域からよりも、ECOWAS-Non UEMOA地域からの調達が多くなっているのである。他方、ECOWAS-Non UEMOA地域においても、同じ宗主国下にあったECOWAS-Non UEMOA地域との交易よりも¹⁹、対UEMOA地域との交易の方が相対的に大きく、UEMOA地域とECOWAS-Non UEMOA地域との交易が、近年、活発になっていることが示された。これは、裏をかえせば、

表5, UEMOA, ECOWAS-Non UEMOA, ECOWAS各地域間交易が
それぞれの総貿易額に占める割合(2002-2006平均)。

単位 %

交易相手 交易元	UEMOA	ECOWAS-Non UEMOA	ECOWAS
UEMOA	13.1 9.0	11.9 11.1	25.0 20.1
ECOWAS-Non UEMOA	3.5 3.2	1.8 3.0	5.3 6.3
ECOWAS	5.1 4.9	3.8 5.3	9.1 10.2

上段 輸出、下段 輸入

ECOWAS域内貿易依存度が依然として低いのは、UEMOAとECOWAS-Non UEMOA地域との交易、つまり、CFAフラン圏とNon-CFAフラン圏との交易が進展していないというよりもむしろ、Non-CFA圏諸国間での交易が他地域との交易に比べて盛んでないことを示唆しているのである。

そもそもECOWAS-Non UEMOA地域に属するガンビア、ガーナ、ナイジェリアの、アフリカ大陸向け輸出が総輸出額に占める割合はそれぞれ約9%ほどにすぎず、ガンビアはアジア(とりわけインド)への、ガーナとナイジェリアは先進国への輸出比率が高い。これは、ガンビアについては主たる輸出品であるカシューナッツ・落花生の需要がインドで高く、ガーナとナイジェリアについてはそれぞれの主要輸出品であるカカオと原油の需要先が先進国になるという構造的な問題に起因する。他方、輸入については、ガーナやギニアにおいてはECOWAS-Non UEMOA地域からの比率が高くなっているが、ECOWAS全体の約60%の経済力をもつナイジェリアのECOWAS-Non UEMOA地域からの輸入比率はわずか0.2%にすぎず、これに伴い、同地域内での貿易比率が大きく押さえられる結果となった。以上より、域内最大の経済力を持ち、工業化が最も進んでいるナイジェリアが、今後、ECOWAS域内交易活発化のカギを握ると思われる。つまり、例えば、ナイジェリアが石油依存から脱却し、工業製品を周辺国に輸出するとともに、繊維等の原料を域内から調達する等の動きが伴わなければ、域内交易の拡大は困難と思われる。

4. 関税同盟に向けての取り組み

前節では、DOTデータを用いて、域内交易依存度の変化と構造についてみたが、本節では、その域内交易依存度を上昇させるにあたって必要な制度的枠組みの一つである関税同盟について、UEMOAおよびECOWASのそれぞれについて近年の動きをまとめたい。

UEMOAでは、1996年7月1日に、加盟国間での非関税障壁と域内産の製品に対する関税を撤廃するという自由貿易協定が締結され、非加工品、伝統的な製品については1996年から、工業製品については2000年1月1日から域内で自由貿易が開始され、それと同時に、域外からの輸入品に対しては、表6にみるようなカテゴリー0から4までの4段階の共通関税と1%の統計税が導入されている。もっとも、加盟国8カ国のうち、2000年1月の時点で共通関税(CET)を導入したのは6カ国のみであり、マリとギニアビサウが参加したのは2003年初頭になる²⁰。また、域内産とは、一次産品については最終財の価値の少なくとも60%が²¹、それ以外については付加価値の40%が域内で産出されている財を指し、工業製品については非課税措置を望む場合には原産地証明が必要になる。なお、CETの具体的な関税率については、UEMOA CET管理委員会にて、金融政策や農業等の委員会とも連携しながら検討され、8カ国のうち5カ国の賛成で決定される。

ところで、徴税が不十分にしか実施されていないアフリカのような国では、関税が主たる財政収入になるため、域内からの輸入品に課される関税を撤廃することは政府の歳入低下を招き、とりわけ内陸国においては深刻な問題をきたす。Coulibaly, G. and Plunket, D.J. (2006)によると、1996年から2004年の9年間で免税措置が認められている2200の財に対する免税総額は1310億CFAフラン(約2億ドル)であったという²¹。こうした急激な税收減少に対処するため、UEMOAは「関税収入減少相殺基金：FCMVRD:Fonds de Compensation des Moins-Values de Recettes Douanières」を創設し、税收減のショックを緩和する目的で、2000年から2005年末までの6年間で、段階的に補填率を下げながら自動的に税收減少分を各国に移転するという制度を導入した²²。この財源となっているのが²³、先の共通関税に加えて、UEMOA域外からの輸入品すべて

に課せられている1%の連帯税(PCS :Prélèvement Communautaire de Solidarité)である。現在、PCSを通じて集められた税は、先の関税収入減少相殺基金の他に、地域統合推進基金(FAIR: Fonds d'Aide à l'Intégration Régionale: FAIR), UEMOAの一般予算、農業開発地域基金(FRDA: Fonds Régionale de Développement Agri-cole)の予算に充てられ、間接的に地域統合を推進するプロジェクトに用いられている²³。PCSの主な拠出国は、域外との貿易が多いコートジボワールとセネガルであり、例えば、2007年1月～11月期間に徴収された490億CFAFのPCSのうち、両国の供出額は全体の64%を占めている²⁴。これに対して、関税収入減少相殺基金から所得移転を受けている国上位3国は、1998年1月1日から2006年9月30日までの総計で、マリ、ニジェール、ブルキナファソになる²⁵。つまり、UEMOA地域では、経済規模が大きく、域外との交易が多い国から、関税収入が期待できない内陸国への所得移転メカニズムが相応に機能しているといえる。

さらに、UEMOAでは、CET導入後も一時的に幼稚産業を保護することを目的に創設された時限付きの保護逓減税(TDP :Taxe Dégressive de Protection)や、急速な輸入自由化による影響を緩和することを目的とした景気調整のための一時輸入税(TCI :Taxe Conjoncturelle à l'importation)も導入されている。このうち保護逓減税については、早い段階で撤廃されるはずであったが、2008年現在も継続して存在している。さらに、実際は、共通関税に加えて、各国が独自になんらかの形で任意の税を課しているのも事実である。例えば、セネガルは、政府系の海外貨物検査会社COSECを設立し、検査に対する料金として、輸入額の一定割合(0.2%)を一律に集金することに加えて、商品として輸入する場合には、さらに一律に均等化税(Tax d'égalisation)5%を賦課している。このように、国によって若干の相違はあるが、最終的に支払わなければならない税額は、例えばコートジボワールのケースでは、輸入品価格(CIF)に対して対外共通関税、統計税1%、逓減保護税、そして一時輸入税を課し、この金額に付加価値税(18%)を加算し、さらにUEMOA共同体連帯税(CIFの1%), ECOWAS共同体課徴金(同0.5%)を上乗せして算出された金額となる²⁶。通常、UEMOA平均MFN税率は14.2%で、他の途上国と比べて低いとされるが²⁷、それ以外の税も加えると実際はかなりの保護率になる。

また、域外から内陸国への輸入に際しては、最初に域内に輸入された時点で課税され、輸入国から内陸国へは非関税で輸出されることになっているが、実際は、二重課税されることも少なくないという²⁸。さらにこれに加えて、国境の検問では、警備担当者らからインフォーマルな支払いが要求されることも日常茶飯事であり、これが域内での自由貿易を阻害しているとの指摘も多く、地域レベルの会合では、しばしば、国境や幹線道路に設置された検問の数を減らすことが議題に挙がっている。

以上にみるように、UEMOAでは多くの問題が山積しているものの、共通関税の制度そのものは既に整備され、実行に移されている。これに対して、ECOWASの関税同盟についてはどうであろうか。ECOWASでは、まず、1990年に域内の貿易自由化計画(ECOWAS Trade Liberalization Scheme: 以下ETLS)が開始され、域内産の未加工品や手工業製品については即自由化が、工業製品については10年かけて関税率を下げていく試みが導入された。しかし、その成果は決して芳しいといえるものではなく、2002年4月に新たなETLSが導入され、事前に認可された工業製品については、域内加盟国間で関税を免除する方法が現在採用されている。他方、共通関税の取り組みも2002年に開始されており、共通関税導入の影響調査、ステイクホルダーとの対話、共通関税に向けた取り組みの姿勢をまとめた文書の提出という3つの要求を満たした国に共通関税に参加する資格が与えられるとされる。2008年現在、ECOWAS加盟国のうち、UEMOA諸国以外でこの条件を満たしているのは、ガーナ、ギニア、ナイジェリア、ガンビア、シエラレオネの5カ国であり、カーボヴェルデとリベリアはまだ途上にある。

繰り返しになるが、UEMOAとECOWAS加盟国が一部重複しているため、

表6 UEMOAの共通関税

カテゴリー	対 象	共通関税率
カテゴリー0	必需品、農業生産投入財	0%
カテゴリー1	基礎的な一次産品、資本財、特別な農業投入財	5%
カテゴリー2	中間財	10%
カテゴリー3	最終消費財	20%

両者の制度は一致させる必要がある。これに対して、2006年1月12日に開催された第29回ECOWAS諸国首脳会議では、2006年1月1日に遡って、上記5カ国が、UEMOAの制度に合わせて0%から20%まで4段階の共通関税を導入することが決定された。これにより、ECOWASとUEMOAの二重構造が解消され、UEMOAの制度が一元的にECOWASに適用されることが期待された。この時、2007年12月31日までの2年間は移行期間とされ、共通関税の対象から除外される財として1900余りが選ばれ、それぞれについてタイプA、Bのカテゴリーに分けて例外的に扱うことが認められた。具体的には、タイプAの財については、2007年12月31日をめどにUEMOAの共通関税率を適用することが、タイプBについてはUEMOAで用いられている共通関税率そのものの見直しを域内諸国で検討するとされた。しかし、2008年1月1日から本格的に始動するはずであった関税同盟については、加盟国間で最終的な合意が得られず、2008年10月現在、まだ正式には始動していない。そもそも、前述のとおり、実際の保護率は相応に高いものの、UEMOA 共通関税率は最高でも20%と、途上国の関税としては例外的に低いことから、ECOWAS-Non UEMOA諸国はUEMOA諸国との関税同盟実現のために、自国の関税率を極端に下げる必要に迫られることになった²⁹。とりわけ、工業化が最も進んでいるナイジェリアからは、関税率の低下がせっかく育てた産業の芽を摘むことになるとの懸念も表明されている³⁰。実際、ナイジェリアは、共通関税導入に向けて、2005年10月に、19あった関税率を5つに再編し、最高関税率を150%から50%に、平均関税率も29%から12%に下げるという大規模な制度見直しを実施したものの³¹、最高関税率を20%にすることには大きく抵抗し、これが結果的に、2008年1月1日に予定されていた関税同盟を延期させる最大の要因となった。ナイジェリアは、当初、表6のUEMOAの共通関税に加えて、カテゴリー4(50%)を創設することを提案するが、これについては受け入れられず、その後、税率を30%台に下げて現在の最高関税率を上回るカテゴリーの導入を主張している³²。なお、この要求はほぼ受け入れられる予定であり、2009年より、5つの関税率から成る関税同盟がECOWASで実現する見通しである。

ところで、こうした関税率は、先述のUEMOAの共通関税を管理する部署とECOWAS事務局が共同で創設したECOWASレベルの共通関税を管理する

委員会 (CET Management Committee) で議論され、15カ国のうち9カ国の賛成で決定される。委員会は、少なくとも1年に1回招集され、関税率の組み替え、統計やCET管理に必要なエキスパートの育成、他国との自由貿易協定締結の際の調整などの役割も担うことになる (Coulibaly, G. and Plunkett, D.J., 2006)。

なお、ECOWASでも、UEMOAと同様に、幼稚産業保護を目的に、徐々に税率を低下させる保護逓減税 (EDPT :The ECOWAS Decreasing Protection Tax), CET導入が急激な輸入を喚起し、域内産業に打撃を与えるのを防ぐためのセーフガードメカニズム (ESM: The ECOWAS Safeguard Mechanism), ECOWAS諸国が輸入した財に先進国の補助金が課せられていることが判明した場合の報復措置として用いる相殺関税 (ECVD :The ECOWAS Countervailing Duty) が導入されている。なおこのうち、EDPTはUEMOAのTDPIに準じるが、ESM, ECVDについては、UEMOAでは一括してTCIで対処するなど、ECOWASとUEMOAのルール間で不整合も見られるようである³³。また、前述のようにECOWASの財源の一部として、域外からの輸入品すべてに0.5%のECOWAS課徴金が課せられているが、各国で集められた後、ECOWASに支払われないという問題も発生している³⁴。

5. 通貨統合に向けての動き

前節では、両地域の関税同盟についてみたが、本節では、域内交易推進の際に大きな障害になると考えられている通貨の問題についてみることにする。UEMOA地域は通貨統合を既に形成しており、フランス国庫の操作勘定や中央銀行を通じて通貨は厳しく管理されている。これに対してECOWASレベルでは、依然として表7に見るような8種類の通貨が使用されており、どれも国際市場で高い交換性をもつ通貨というわけではない。このうち、カーボヴェルデ通貨のエスクードは、ユーロ導入以降1ユーロ=110.265カーボヴェルデ・エスクードに固定されており、CFAフランと同様ユーロに固定されていることから、安定的な経済運営が続く限り、CFAフラン圏との通貨変動リスクは無く、CFAフラン圏との通貨統合は比較的容易であると考えられる。では、それ以外の6通貨については、どのようなプロセスで通貨統合が模索さ

表7 ECOWAS諸国で用いられている通貨

国名	通貨名(単位)	IMFでのステータス
UEMOA	CFA フラン(Franc)	8条国
カーボヴェルデ	カーボヴェルデ・エスクード(Escudo)	8条国
リベリア	リベリア・ドル(Dollar)	14条国
ギニア	ギニア・フラン(Franc)	8条国
シェアレオネ	レオネ(Leone)	8条国
ガンビア	ダラシ(Dalasi)	8条国
ナイジェリア	ナイラ(Naira)	14条国
ガーナ	セディ(Cedi)	8条国

筆者作成

れてきたのかを以下にまとめたい。

当該地域では、ECOWASが設立された1975年の段階で、域内の経常取引に加盟国通貨の利用を促す目的で西アフリカ手形交換所(West African Clearing House)が設置され、翌年の7月1日には業務が開始されている³⁵。時代は、ニクソンショックから4年を経過し、その後のスミソニアン体制から2年を経過していたとはいえ、大半の国が固定相場制下にあり、これら西アフリカ諸国の通貨も、それぞれ、フランスフラン、USドル、イギリスポンドに価値を固定させ、介入通貨として用いていた。このような状況にあつて、域内経常取引に際して加盟国通貨の利用がすすめば、加盟国の外貨準備は節約され、域内貿易自由化の進展、ゆくゆくは通貨統合も果たせられると考えられた。WACHについては、邦文では室井(1985)が詳しいが、それによると、国境を越えた各個人の経常取引の決済は、最終的には各加盟国の中央銀行がWACHに開いている口座間でなされるという制度である。この時、各通貨建ての取引の計算を容易にするためにIMFのSDRに一定レートでペグする西アフリカ勘定単位(West African Unit of Account, 以下WAUA)が作られ、各加盟国通貨価値はそれぞれWAUAで表示された。しかし、各国通貨価値が安定しない状況下にあつては、常に為替リスクが生じ、期待されたほどの成果は見られず、

1977-78年の時点で、WACHを通じて決済された取引は、密貿易を除いた域内総貿易の約11%程度しかカバーしていないという(室井, 1985)。

その後、1980年には、OAU特別首脳会議で2000年までにアフリカ共同市場とアフリカ経済共同体を設立する目標が発表された(ラゴス行動計画)。これにより、アフリカ大陸全体で地域経済統合推進の勢いがつくことになる。この高まりをうけるかのように、1985年の首脳会議でこの行動計画の実施が確認され、1987年には、ECOWASは単一通貨創設を目標に通貨協力プログラムを開始し、1995年には、WACHを改組する形で西アフリカ通貨機構(West African Monetary Agency, 以下WAMA)が設立され、その翌年3月には、本部をフリータウンに設置し、業務が開始された。しかし、これも期待されたようには機能しなかった(WAMI, 2006: 6)。

そこで、1999年12月、ロメで行われた第22回ECOWASサミットの際に、ナイジェリアのオバサンジョ大統領(当時)が、ナイジェリアとガーナが中心となって、まず、ECOWAS-Non UEMOA諸国で通貨統合を行うことを提案し、1年後の2000年12月、パマコで開催された第23回サミットの際に、ガーナ、ギニア、リベリア、ナイジェリア、シエラレオネ、ガンビアの6カ国が、2003年までに「第2通貨圏(West Africa Monetary Zone)」を形成し、2004年にはUEMOAと統合してECOWASレベルで通貨を統合する計画が発表された(パマコ協定)。共通通貨の名前は当該地域ECOWASの頭文字をとり「ECO」と名づけられ、翌年1月にはガーナのアクラに西アフリカ通貨研究所(West African Monetary Institute, 以下、WAMI)が設立され、同年の3月には本格的に業務を開始し、通貨統合が実現した暁には中央銀行としての役割を果たすことが予定されている。

しかし、2002年12月、マクロ経済指標の目標値が守られていないことを理由に、当初の予定であった2003年から2005年7月1日に通貨統合は延期された。そして延期された期日が迫った2005年5月6日には、域内のマクロ経済指標が目標値に達していないとの理由で、再び、2009年12月1日に通貨統合は延期され(バンジュール宣言)、2008年現在、今後の行方はまだ不透明である。なお、2003年から2005年に延期された際には、リベリアがメンバーから外れ、現在は、カーボヴェルデとともにオブザーバーの位置づけにある。

では、WAMZを実現するにあたって、加盟国に課されているマクロ経済指標の目標値とはいったいどのようなものであろうか。表8にみるように、具体的な目標数値は、第1基準と第2基準に区別され、WAMZ実現のためには少なくとも第1基準をクリアする必要がある。2006年の時点で、ナイジェリアとガンビアは、第1基準の4項目全てを、シェラレオネとガーナは2項目について目標値をクリアしているが、ギニアは1項目しか目標を達成できていない。なかでも、③の財政赤字項目は、財政赤字(援助を除く)³⁶のGDP比が4%以下(つまり、財政収支のGDP比がマイナス4%以上)であることを条件としているが、諸外国からの援助が財政収入のかかなりの部分を占めるシェラレオネとガーナは達成できておらず、むしろ援助をあまり受けていないギニアがその項目のみを達成しているという皮肉な結果となっている。また、②のインフレ率については、ガーナは10.5%とわずかに目標値を上回ったにす

表8 WAMZとUEMOAの収斂目標と達成国数(2006)

	WAMZ				UEMOA			
	項目	目標値	W/5*	U/8*	項目	目標値	W/5*	U/8*
第1基準	①財政赤字(援助)/GDP	4%以下	3	2	①プライマリーバランス/GDP	0%以上	3	3
	②インフレ率	1桁	3	8	②インフレ率	3%以下	1	7
	③中央銀行による財政赤字補填額	前年の税収入の10%以下	3	8	③債務(国内・対外)の支払いの遅延額	0以下	2	4
	④外貨準備	輸入3か月分以上	4	8	④累積債務/GDP	70%以下	5	5
第2基準	①総人件費/税収	35%以下	3	5	①賃金支払い額/税収	35%以下	3	5
	②政府投資/税収	20%以上	2	4	②国内投資支出/税収	20%以上	2	4
	③実質利子率	0%以上	1	5	③経常収支/GDP	-5%以上	2	1
	④税収入/GDP	20%以上	1	0	④税収入/GDP	20%以上	1	1
	⑤為替の変動幅	+/-15%以内	4	-				

注 *W/5 WAMZ 5カ国のうち、達成国数。 U/8 UEMOA 8カ国のうち、達成国数。

出所 WAMI (2007c), *Memorandum on Harmonized Approach to a Single Currency for the ECOWAS*, August 2007.

ぎないが、ギニアについては39.1%となっている。この背景には、④の中央銀行の財政赤字補填項目とも関連が深い。そもそも、ギニアでは、WAMZの基準(10%)を超えて、前年の財政収入の20%を中央銀行が補填することが認められているが、その値を大幅に上回る補填(54%)が行われているのである(WAMI, 2007c)。

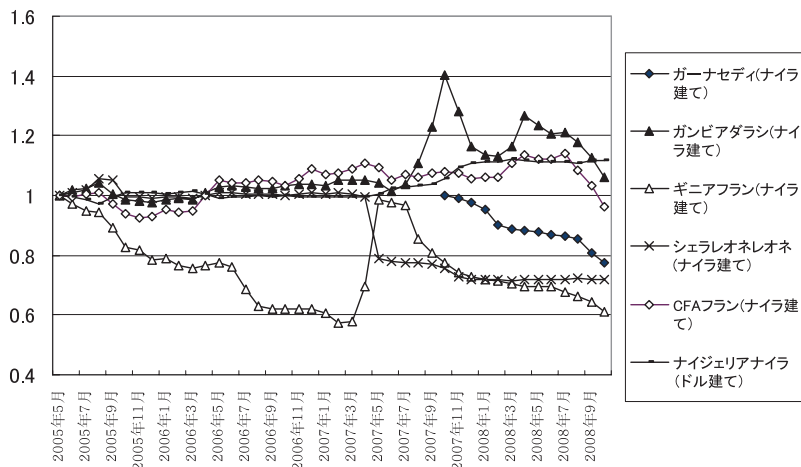
同様の目標経済指標は、既に通貨統合が実現しているUEMOAにも、表8に見るように、域内格差の是正を目的に存在するが、両地域の基準は一致しておらず、ECOWASレベルでは、WAMZの基準が目標値とされている³⁷。表8からは、UEMOAおよびWAMZ諸国ともに、財政収支の均衡、安定した税収入の確保、人件費といった支出削減に苦勞している様子が観察されるが、これらの項目をのぞけば、UEMOA基準をみたせていないUEMOA諸国のほぼ全てがWAMZの基準を満たしていることから、全般的にWAMZの基準の方が到達しやすいようである。

2005年のバンジュール宣言では、通貨統合の実現を謳ったバマコ協定の内容に加えて、それを実現化するためのさまざまな方策が打ち出されている。即時グロス決済(RTGS)、域内銀行の規制事項の統一、金融・資本市場の統合もその一部である。即時グロス決済とは、既に多くの国で導入されている銀行間決済システムで、中央銀行に振替指示が持ち込まれると同時に決済が可能となり、紙ベースでの決済や「時点ネット決済」³⁸に比べて域内の取引を迅速で安定したものにすることが可能である。このRTGSは、UEMOAでは2004年に、WAMZでもガーナとナイジェリアが既に導入済みである。これに対してこれまで未導入であったガンビア、ギニア、シエラレオネ3国に対しても、アフリカ開発銀行の支援(2300万ドル)で、2008年9月から3年計画で導入が進められることになっている。また、2007年5月10日、第20回WAMZ閣僚・中央銀行総裁収斂会議(アブジャ)での域内交易を加盟国間通貨で決済するという合意は、(1)外貨準備の節約、域内通貨の兌換性を高めることで、(2)域内交易の増大、(3)取引費用の削減、(4)支払いの簡素化、(5)インフォーマル貿易の減少などが期待されている(WAMI, 2007b)。RTGSはそうした取引の利便性を飛躍的に高められると思われる。

他方、域内銀行の規制、金融・資本市場の統合については、WAMZ域内で

営業を行う銀行が保有する総資産・総負債の約85%がナイジェリア1国に集中していることから、ナイジェリアのイニシアティブが不可欠になる³⁹。しかし、ナイジェリアは、為替相場をダッチ・オークション・システムで管理しており、依然としてIMF協定の第14条国の位置づけにある⁴⁰。域内の大国ナイジェリアが域内金融市場でリーダーシップを担うには、IMF 8 条国への移行が必須であり、ナイジェリア政府も徐々に為替市場を自由化し、2009年1月には、IMF 8 条国へ移行する条件を満たすつもりでいる。また、地域レベルの資本市場の統合については、既にコートジボワールのアビジャンにUEMOA地域の株式・債券市場が設立されているが、WAMZでは、ガーナとナイジェリアがそれぞれ個別に株式市場を設けており、資本市場統合に向けて、アメリカの技術支援等も得ながら、重複上場等の試みがなされつつある⁴¹。

最後に、図2では、バンジュール宣言が出された2005年から2008年11月現在までのWAMZ諸国通貨とCFAフランの価値の推移を示している。ここでは、2005年5月の水準を1として、域内の経済大国ナイジェリアナイラについてはドル建てで、それ以外の通貨についてはナイラ建てでプロットしている。つまり、図2では、値が大きくなればナイラのドルに対する、または、各通貨のナイラに対する増価を示すことになる。なお、長らく高インフレと減価に苦しんでいたガーナは、2007年8月に1万分の1のデノミをしているため、その翌月以降のデータのみをプロットしている。図2からは、当該期間において、ナイラは2005年5月から2007年5月までの2年間は、ドルに対してほぼ一定の為替レートを維持し、ギニアフランを除いた他の全てのWAMZ諸国の通貨も、そのナイラに合わせて同じ水準で安定的に推移していたことが観察される。また、ユーロにペグしているCFAフランは、ユーロとともに価値の変動を強いられるが、ナイラに対しては、ほぼ5%の変動幅に収まっていたことも明らかとなった。しかし、2007年5月から11月にかけてナイラが石油価格の上昇に伴う外貨収入の増大からドルに対して約10%増価すると同時に、他のWAMZの通貨価値も乱れる。ガンビアダラシは、ナイジェリアナイラに対してさらに増価し、他の通貨は減価する。実際、2007年後半以降、サブプライムローンに伴う金融危機が表面化し、世界経済は石油価格を始めとする商品価格の上昇、ドルの減価、ユーロの増価、そして未曾有の経済危機



注 Inter bank rate (bid)

<http://www.oanda.com> より筆者作成。

(各月平均値。2005年5月の水準を1とする。)

図2 WAMZ圏通貨およびCFAフラン

に直面する。アフリカ諸国は、食料価格やエネルギーの高騰に伴う物価上昇に苦しみ、通常時ですら脆弱なマクロ経済の安定化に腐心することを強いられたことから、為替レートの安定化にまで手が回らなかったことも背景にある。バンジュール宣言が出されてから約2年間、大半のWAMZおよびUEMOA諸国は通貨価値を安定させることに成功していたが、世界経済との繋がりが弱いアフリカにおいてすら、2007年以降、世界規模で発生した金融と経済混乱の影響から免れることはできなかったようである。

以上の状況を鑑みると、確かに、WAMZ地域でも通貨統合に向けてのプログラムが以前に増して具体化しつつあるのは事実であるが、2009年12月に、WAMZ地域でECOを導入できるかについては依然として不透明である⁴²。また、たとえWAMZで通貨統合が実現したとしても、最適通貨圏の観点から考察すると、UEMOAと統合するよりも、むしろCEMACと統合する方が好ましいという指摘もある (Tsangarides, C.G. and Qureshi, M.S., 2008)。なぜなら、WAMZの8割強の経済力を持つナイジェリアは産油国であるが、中央アフリカ共和

国を除いたCEMAC諸国も産油国であることから、マクロ経済指標で高い同調性が期待できるからである。また、WAMZ地域が³、UEMOA、CEMACどちらと統合するにしても、フランスが国庫の操作勘定を通じてアフリカ諸国に提供している独特の国際収支支援システムが旧英領アフリカ、とりわけ、ナイジェリアのような大国に付与されるとは思えない。このように、WAMZとCFAフラン圏が統合する際には、フランス国庫の操作勘定についての議論も避けられないが、仮に廃止されるとするならば、それは大半の旧フランス領アフリカ地域にとって独立後も脈々と引き継がれてきたド・ゴール体制からの脱却、つまり、本当の意味でのフランス領アフリカの経済的独立を意味することになる。

本節では、近年のECOWASの地域経済統合の進展の一側面として通貨統合に言及したが、WAMZの実現およびUEMOA圏とWAMZの統合についての学術的な検証は、別の機会に改めて行いたい。

総 括

本研究では、ECOWAS加盟国の域内貿易比率の値は未だ低いものの、近年、確実に高まりつつある点が明らかになるとともに、UEMOAとECOWAS-Non UEMOAの2地域に分けて域内貿易依存度を分析したところ、2グループ間の交易は近年活発になりつつあり、むしろ、ECOWAS-Non UEMOA諸国間での交易があまり活発ではないという事実が、域内貿易依存度の値を低下させている点を示した。域内での貿易量が少ない原因には、関税同盟や共通通貨の不在がしばしば指摘されるが、本稿では、その取り組み状況についてもできる限り詳細にまとめ、当該地域が、そうした制度形成に努力をしてこなかったわけではないが、最後の段階で足踏みを強いられている点についても明らかにした。もっとも、加盟国の国内生産構造が非常に似通っているため、仮に、関税同盟や通貨統合に成功したとしても、これらの地域の域内交易が飛躍的に高まるとは思えない。それにもかかわらず、以下に述べる理由から、ECOWASが一つの経済集合体として機能することの意義は以前にも増して高まっていると考えられる。

20世紀末より通信・交通技術の向上に伴うグローバリゼーションが顕著に観察されたが、そうした国境を越えた自由な経済取引に関する多角的なルール作りは、WTO交渉の決裂にみるように、遅々として進んでいない。これに対して各国は、FTAもしくはEPA締結の動きを加速させている。ある閾値を越えてFTA・EPAの締結が世界で進めば、FTA・EPAから外れることによる経済的不利益は飛躍的に拡大する。本稿では、ECOWAS設立の背景に、EECとの間で締結されたロメ協定があるとの見方を紹介したが、ヨーロッパが一方的に特定グループACP諸国(77カ国)に経済的便宜をはかるというロメ協定は、多角主義・互惠主義を謳うWTOの精神に反することから、2000年2月に失効した。代わってEU-ACP諸国間で結ばれたのが、2000年6月に調印、2003年4月に発効したコトヌ協定である。コトヌ協定では、2020年までに自由貿易圏の形成を目標に、EUとACP諸国が段階的に両者間の貿易障壁を取り除き、遅くとも2007年末までに新貿易協定を結ぶことを規定している。これに基づき、コトヌ協定では、2007年までの移行措置として旧ロメ協定を維持することが規定され、WTOもEUにその期日までWTO協定義務免除を認めている(2001年WTO閣僚理事会)。したがって、ACP諸国は、2007年末までに、ロメ協定に代わる新貿易協定(EPA)締結を迫られ、達成できなかった場合、ACP諸国であっても、他の途上国向けに設定されている、より条件の悪い一般特惠関税制度(GSP)が適用されることになった。

ところで、当初、EUは、新貿易協定締結にあたって1国単位ではなく、地域共同体を中心とする地域単位で交渉を進めていた。それぞれの地域共同体は、本稿でみたように、域内貿易の自由化を推進していることから、地域単位で交渉することが好ましいことは自明であった。西アフリカでは、ECOWASとモーリタニアが一纏まりとされ、2003年10月からEPA締結に向けてEUとの交渉を開始したが、議論は難航したことから、EUは地域単位でなく二国間交渉に切り替えた。さらにその際、ACP諸国を後発途上国(LDC)と非LDCに分け、ロメ協定終了後も、LDC諸国50カ国については、武器以外の全品目で数量制限なしにEU市場にアクセスできる制度(EBA⁴³)を与えたことから、2008年以降、大きな影響を被るのは、ACP諸国の中でも非LDC国に限定されることになった。つまり、EUと交渉する立場にあるアフリカ側の地域

統合にLDCと非LDCが混在している場合には、アフリカ側で進められている地域統合そのものにもなにかしらの影響を与えることとなったのである。本稿で対象としているECOWAS+モーリタニア地域では、2008年1月1日の時点で、ガーナ、コートジボワール、ナイジェリアが非LDC国とされ、また、カーボヴェルデが、2008年中にLDCステータスを失い、その後3年間は移行措置としてEBAの便益を受ける立場にある。このうち、ガーナとコートジボワールは、2007年にEPAの暫定協定を締結し、15年後の2023年には、EUからの輸入額の約8割程度の財については輸入を自由化することがすでに決定している。ナイジェリアについては交渉はまとまらず、2008年1月1日以降、他の途上国と同様の一般特惠関税が適用されているが、ナイジェリアの輸出の大半は需要の価格弾力性が極めて低い原油であるため、現段階で、ナイジェリアの輸出に深刻な影響は与えてはおらず、ナイジェリア自身もEUとのEPA締結に前向きな姿勢を見せている。

長らく世界経済からのマージナリゼーションが指摘されてきたが、グローバル化の進展に伴い、FTA/EPAを通じて、アフリカも例外なく世界経済市場に組み込まれようとしている。これに対して一部では、こうした動きはアフリカの経済厚生を今以上に悪化させることになる懸念が示されている。しかし、かつてエンクルマが主張したように、西欧および先進国から一切の経済的繋がりを絶つことが、アフリカの経済厚生を高めるとも思えない。確かに、アフリカ側の地域統合に加盟している国の一つでも、EUとEPAを形成すれば、アフリカ側も域内で原産地証明の制度を整備し、それを管理する能力を確立する等の阻置を講じないかぎり、地域全体に安い工業製品が流れ込み、アフリカの持続的発展を損なう可能性も否定できない。EUといった大国の意向に翻弄されることなく、対等なパートナーシップを形成するためにも、アフリカ側の経済・政治統合の重要性は、かつてなく高まっているのである。

追記

本研究は、平成20-22年度科学研究費補助金(基盤C)課題番号20530234、研究課題“CFAフランと旧仏領西アフリカの経済発展：資源ブーム時の為替切り下げ効果を中心に”の助成によるものである。

注

- 1 英語では, WAEMU (West African Economic and Monetary Union) となるが¹, 本稿では, 原語表記とした。
- 2 1973年, 域内自由貿易の推進を目的に リベリア・シエラレオネの二国間で結成。80年にギニアが²加入。
- 3 1959年, コートジボワールのイニシアティブで形成された地域経済同盟の一つ。現在の加盟国は, ベナン, ブルキナファソ, コートジボワール, ニジェール, トーゴ。
- 4 発券業務といっても, 実際の紙幣の印刷はバリで行われていた。
- 5 岡田昭男(1995), 17頁。
- 6 フランス領西アフリカ(AOF), 赤道アフリカ(AEF), カメルーン, トーゴ, 仏領ソマリランド, マダガスカル, レユニオン。
- 7 Décrée du 25 Décembre, 1945.
- 8 ただし, 1958年12月26日にフランスフランがデノミされたため, 実質的な交換レートは不変であるが, 1CFAフラン=0.02フランス本国フランに変更。
- 9 モーリタニア, セネガル, オートヴォルタ(現在のブルキナファソ), スーダン(現在のマリ), ニジェール, コートジボワール, ダホメ(現在のベナン)(以上, 仏領西アフリカから7領土), ガボン, 中央コンゴ, ウバンギシャリ(現在の中央アフリカ共和国), チャド(以上, 仏領赤道アフリカから4領土)およびマダガスカルの12領土
- 10 1968年, コートジボワールがナイジェリアのピアフラ州を国家として認可したことが³原因。
- 11 落合雄彦(2002), 13頁。
- 12 前掲注。
- 13 Bach, D. (1983), p.610.
- 14 *Ibid.*, p.611.
- 15 ACP諸国とは, アフリカ, カリブ海, 太平洋の途上国を指す。
- 16 本稿では, ECOWAS加盟国ではあるがUEMOAには加盟していない国のことを指す。
- 17 オーストリア, ベルギー, フィンランド, フランス, ドイツ(東ドイツ含む), ギリシャ, アイルランド, イタリア, オランダ, ポルトガル, スペイン。ルクセンブルグについては, 統計の不備から, 第Ⅱ期および第Ⅲ期の2期のみ。
- 18 国連が発表している貿易データベースCOMTRADEによると, 2006年のコートジボワールおよびセネガルのナイジェリアからの輸入額は, それぞれ160.3万ドル, 117.4万ドルとなっているが⁴, そのうち, 石油関連の商品が⁵159.7万ドル, 116.5万ドルとなっている。
- 19 ただし, ECOWAS-Non UEMOAであるギニアの宗主国は英国でなく, フランスになる。
- 20 Coulibaly, G. and Plunket, D.J., (2006), p.12.
- 21 *Ibid.*, p.22.
- 22 2000年から2002年については100%, 2003年80%, 2004年60%, 2005年30%の補填率。(UEMOA, Act Additionnel No.06/99, le 8 Décembre 1999). 出所:UEMOA, *Rapport An-*

nuel de la Commission 2007.

- 23 2007年1月から11月までに徴収されたPCSは491億CFAF。その予算配分状況は、FCMVRD：142億CFAF、FAIR:145億CFAF、UEMOA一般予算：180億CFAF、FRDA：23億CFAFとなっている。出所：UEMOA, *Rapport Annuel de la Commission 2007*.
- 24 出所：UEMOA, *Rapport Annuel de la Commission 2007*. p.37.
- 25 1998年1月1日から2006年9月30日の合計移転総額は、ヨーロッパからの236億CFAFの援助を含めて1436億CFAF。各国の配分は、ベナン(10.25%)、ブルキナファソ(20.54%)、コートジボワール(1.24%)、ギニアビサウ(0.18%)、マリ(26.53%)、ニジェール(24.22%)、セネガル(11.58%)、トーゴ(5.46%)。出所：UEMOA, *Rapport Annuel de la Commission 2006*, p.37.
- 26 JETROアビジャンHP.
- 27 Goretti, M. and Weisfeld, W., (2008).
- 28 Coulibaly, G. and Plunket, D.J., (2006), p.33.
- 29 Ukaoha, K. (2008)によると、先進国の地域統合であるEUの平均関税率は3.5%であるが³、中進国のMercosur, SACUのそれは、それぞれ11%, 11.4%であり、同じCFA圏であるCEMACのそれは18.4%という。
- 30 ナイジェリア貿易業者連盟(National Association of Nigerian Traders:NANTS)会長を務めるKen Ukaoha氏。出所：Ukaoha, K. (2008), p.11.
- 31 Zouhon-Bi. S.G.and Nielsen,L., (2007), p.7.
- 32 ナイジェリア連邦政府の予算局長Okogu氏による。参照URL：ナイジェリア連邦政府予算局HP, <http://www.budgetoffice.gov.ng/speech.html> (2008年10月24日閲覧)。
- 33 Coulibaly, G. and Plunket, D.J. (2006), p.40.
- 34 ECOWASホームページより。 <http://www.sec.ecowas.int/sitecedeo/english/achievements-6.htm>.
- 35 1975年に独立したばかりのカーボヴェルデはWACHには加盟していない。
- 36 (財政収入－純債務－財政支出＋利子支払い)/GDPで計算される。Facine, S. and Allieu, S. (2007).
- 37 1999年12月, 「UEMOA諸国間における収斂, 安定, 成長, 連帯条項」を発表。
- 38 金融機関が中央銀行に持込んだ振替指図が一定時点まで蓄えられ, その時点で各金融機関の受払差額が決済される。
- 39 African Development Fund (2008), Appendix 2.
- 40 IMF加盟にあたっては, 経常取引のための支払いおよび資金移動に対して何らかの制限を加えてはならない(IMF8条国)が³, 一部の途上国については, その条件が緩和されている(IMF14条国)。ナイジェリアは, 2002年7月より, リテイル・ダッチ・オークション・システムを導入しており, 2006年2月には, ホールセール・ダッチ・オークションシステムに移行している。
- 41 WAMI (2007c), *Memorandum on the Prospects of a Harmonized Approach to a Single Cur-*

rency for the ECOWAS.

42 これについて、WAMIのNnanna総裁は、「①基準とされているマクロ経済指標を事前に満たしていなくとも、ユーロ圏がそうであったように、事後的に満たすことを条件に、とりあえず通貨統合を行う。②既に2006年の段階で基準を満たしているガンビアとナイジェリアの2カ国に2007年—2008年で基準に達した国を追加して通貨統合を行う。③WAMZのプロジェクトそのものを諦める。」という3つのオプションを提示し、3度、通貨統合が延期されることは避けるべきであると論じている(Nnanna, O.J.:2007)。

43 Everything But Arms.

→輸出

Appendix I

第1期(1972-1976)輸出

%	Benin	Burkina Faso	Côte d'Ivoire	Guinea-Bissau	Mali	Niger	Senegal	Togo	UEMOA	ECOWAS -non UEMOA	United Kingdom	France	Euro (France含む)	その他	World (百万ドル)
Benin	-	0.1%	0.9%	0.0%	0.0%	4.1%	2.1%	2.2%	9.4%	8.5%	4.0%	30.6%	60.2%	17.9%	184.05
Burkina Faso	0.1%	-	34.2%	0.0%	1.8%	1.2%	0.1%	0.7%	38.0%	4.2%	0.0%	25.4%	40.0%	17.8%	178.74
Côte d'Ivoire	0.4%	2.2%	-	0.0%	2.7%	0.8%	1.9%	0.2%	8.1%	0.8%	3.2%	26.4%	64.2%	23.6%	5446.06
Guinea Bissau	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	1.6%	8.2%	0.8%	0.4%	85.6%	3.9%	19.97
Mali	0.0%	1.0%	19.6%	0.0%	-	1.2%	9.6%	0.0%	31.5%	3.7%	4.3%	23.8%	34.6%	25.9%	279.15
Niger	0.9%	0.7%	1.0%	0.0%	0.6%	-	0.1%	0.1%	3.5%	24.8%	0.9%	53.6%	66.3%	4.5%	394.06
Senegal	1.1%	0.2%	4.8%	0.0%	2.5%	0.4%	-	0.3%	9.3%	1.3%	5.3%	50.7%	63.4%	20.7%	1755.21
Togo	0.6%	0.2%	0.3%	0.1%	1.3%	0.3%	0.1%	-	2.9%	1.1%	0.6%	37.1%	85.6%	9.7%	530.18
UEMOA	0.6%	1.5%	2.4%	0.0%	2.3%	0.7%	1.5%	0.3%	9.2%	2.3%	3.3%	33.1%	63.9%	21.2%	8767.45
Gambia	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.7%	2.0%	35.6%	19.3%	54.9%	6.9%	167.27
Ghana	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.7%	16.3%	0.6%	28.9%	53.5%	3421.65
Nigeria	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	0.8%	0.9%	14.6%	10.3%	31.3%	52.4%	33624.50

DTSより筆者計算。

Euro:Austria, Belgie, Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Netherland, Portugal, Spain (Luxemburgは含まれていない)。

輸入←

Appendix II

第1期(1972-1976)輸入

%	Benin	Burkina Faso	Côte d'Ivoire	Guinea-Bissau	Mali	Niger	Senegal	Togo	UEMOA	ECOWAS -non UEMOA	United Kingdom	France	Euro (France含む)	その他	World (百万ドル)
Benin	-	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.1%	2.1%	0.4%	5.0%	2.4%	8.9%	32.7%	51.5%	32.2%	760.26
Burkina Faso	0.0%	-	16.6%	0.0%	1.8%	0.1%	1.0%	0.1%	19.6%	1.8%	1.7%	44.7%	59.6%	17.3%	585.15
Côte d'Ivoire	0.0%	0.1%	-	0.0%	0.2%	0.1%	1.7%	0.0%	2.1%	3.6%	2.7%	40.5%	59.7%	31.9%	4552.96
Guinea Bissau	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.5%	4.0%	2.1%	68.7%	26.1%	193.5
Mali	0.0%	0.3%	12.0%	0.0%	-	0.3%	7.4%	0.0%	20.0%	0.2%	1.9%	34.9%	46.1%	31.8%	724.05
Niger	0.5%	0.5%	4.4%	0.0%	0.4%	-	1.0%	0.0%	6.9%	4.8%	2.3%	39.3%	53.9%	32.1%	481.89
Senegal	0.2%	0.0%	3.9%	0.0%	0.4%	0.0%	-	0.0%	4.5%	3.5%	1.9%	43.1%	57.2%	32.9%	2300.93
Togo	0.6%	0.2%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	-	2.9%	1.7%	10.3%	34.7%	59.0%	26.0%	664.59
UEMOA	0.1%	0.1%	3.1%	0.0%	0.3%	0.1%	1.6%	0.1%	5.4%	3.0%	3.4%	39.2%	57.4%	30.8%	10263.33
Gambia	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.1%	24.0%	7.4%	38.6%	37.0%	20384.9
Ghana	0.1%	0.4%	0.7%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.4%	2.0%	7.1%	15.8%	4.4%	25.0%	50.1%	3188.4
Nigeria	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	3.1%	1.9%	26.0%	4.5%	19.1%	49.9%	233.64

DTSより筆者計算。

Euro:Austria, Belgie, Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Netherland, Portugal, Spain (Luxemburgは含まれていない)。

→輸出

Appendix III

第II期(1987-1991)輸出

%	Benin	Burkina Faso	Côte d'Ivoire	Guinea-Bissau	Mali	Niger	Senegal	Togo	UEMOA	Cape Verde	Gambia	Ghana	Guinea	Liberia	Nigeria	Sierra Leone	ECOWAS-UEMOA	ECOWAS	United Kingdom	France	Euro France 含む	その他	World(百万ドル)
Benin	0.7%	2.5%	2.3%	0.0%	0.0%	1.2%	0.2%	2.5%	7.3%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	11.2%	0.0%	11.6%	18.9%	2.3%	3.0%	31.2%	47.6%	429.11
Burkina Faso	0.3%	11.8%	0.0%	0.0%	0.8%	0.6%	0.1%	4.6%	15.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	38.4%	3.3%	28.2%	21.9%	428.31	
Côte d'Ivoire	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	0.1%	1.3%	1.3%	0.0%	0.2%	2.2%	1.2%	0.5%	0.9%	0.3%	6.2%	38.4%	3.3%	13.5%	53.5%	21.9%	1428.21
Guinea-Bissau	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	1.2%	15.1%	1.5%	1.9%	47.6%	45.8%	88.5
Mali	0.0%	0.6%	9.2%	0.0%	-	0.1%	4.9%	0.0%	14.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	15.1%	2.2%	5.8%	24.1%	24.8%	1047.79
Niger	1.1%	0.5%	1.2%	0.0%	0.2%	-	0.1%	0.5%	3.7%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	8.8%	0.0%	9.1%	12.7%	0.2%	57.3%	63.3%	55.8%	1404.77
Senegal	0.5%	0.5%	2.4%	0.5%	5.0%	0.0%	1.1%	0.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.1%	3.3%	0.1%	2.2%	11.6%	2.2%	31.4%	46.6%	40.6%	3649.33
Togo	2.5%	2.7%	0.2%	0.0%	0.2%	1.1%	-	-	6.7%	0.1%	0.3%	1.4%	0.3%	0.0%	3.1%	0.0%	4.9%	11.6%	11.6%	8.1%	38.2%	46.4%	1264.77
UEMOA	0.7%	2.5%	1.3%	0.2%	3.0%	0.8%	1.5%	1.2%	11.0%	0.1%	0.3%	1.5%	0.9%	0.3%	2.2%	0.2%	5.4%	16.4%	2.5%	18.6%	30.0%	30.9%	22813.85
Cape Verde	0.0%	0.0%	0.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	2.5%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	67.3%	30.2%	34.24
Gambia	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.4%	4.6%	0.0%	0.1%	0.0%	5.1%	5.5%	3.5%	2.4%	45.7%	45.3%	635.95
Ghana	0.3%	0.1%	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	2.3%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	16.9%	3.5%	2.0%	45.2%	35.4%	4681.29
Guinea	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.1%	0.6%	3.0%	8.1%	55.6%	40.8%	2700.79
Liberia	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	49.8%	49.9%	3655.2
Nigeria	0.1%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	2.0%	0.1%	0.1%	-	0.1%	2.3%	2.0%	2.8%	6.3%	37.6%	54.3%	40367.16
Sierra Leone	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	1.8%	0.4%	0.0%	57.5%	42.5%	659.16
ECOWAS-Non UEMOA	0.1%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	2.6%	0.0%	0.0%	1.5%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	1.8%	4.4%	3.9%	5.4%	40.4%	51.3%	52823.79
ECOWAS	0.3%	0.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.5%	5.1%	0.0%	0.1%	1.5%	0.3%	0.1%	0.7%	0.1%	2.9%	8.0%	3.5%	9.4%	43.3%	45.2%	75637.64

DOTより算出計算。
Euro/Austria, Belgium, Luxembourg.

DOTより筆者計算。

Euro:Austria, Belgium, Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Netherlands, Portugal, Spain, Luxembourg.

輸入←

Appendix IV

第II期(1987-1991)輸入

%	Benin	Burkina Faso	Cote d'Ivoire	Guinea-Bissau	Mali	Niger	Senegal	Togo	UEMOA	Cape Verde	Gambia	Ghana	Guinea	Liberia	Nigeria	Sierra Leone	ECOWAS- non Leone	ECOWAS	United Kingdom	France	Euro France 含む	その他	World(百万ドル)	
Benin	-	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.3%	1.3%	2.5%	7.5%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.1%	7.8%	15.4%	4.7%	19.3%	36.4%	43.6%	1386.88	
Burkina Faso	0.1%	-	16.5%	0.0%	0.3%	0.1%	1.3%	3.1%	21.5%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	2.8%	24.2%	1.6%	28.3%	42.4%	31.8%	2349.98	
Cote d'Ivoire	0.1%	0.1%	-	0.0%	0.3%	0.2%	1.1%	0.0%	7.1%	0.0%	0.2%	0.3%	0.1%	0.0%	1.6%	0.1%	16.6%	18.5%	2.5%	29.5%	51.1%	27.9%	10635.91	
Guinea-Bissau	0.0%	0.0%	3.6%	-	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	7.1%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	7.5%	1.7%	4.8%	57.6%	33.2%	546.84	
Mali	0.0%	0.2%	18.5%	0.0%	-	0.0%	6.5%	0.1%	25.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	25.5%	2.9%	22.1%	39.5%	32.1%	284.66	
Niger	0.9%	0.6%	7.9%	0.0%	0.1%	-	0.2%	0.4%	10.2%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	15.7%	25.8%	2.4%	28.5%	42.1%	29.6%	1804.65	
Senegal	0.0%	0.0%	5.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	-	5.3%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.1%	5.3%	0.0%	5.4%	10.7%	1.8%	30.3%	49.8%	37.7%	2060.38	
Togo	0.8%	0.4%	4.6%	0.0%	0.0%	0.1%	0.9%	-	6.8%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	3.0%	9.8%	4.9%	31.3%	35.2%	30.0%	2406.38	
UEMOA	0.2%	0.1%	5.5%	0.0%	0.2%	0.1%	1.4%	0.4%	8.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.1%	0.0%	8.7%	0.1%	9.4%	17.4%	2.6%	27.9%	48.1%	32.0%	28871.44	
Cape Verde	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	3.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	6.3%	2.4%	3.5%	64.2%	30.4%	614.34	
Gambia	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	4.3%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	13.3%	15.6%	2.6%	7.6%	31.5%	46.2%	1132.8	
Ghana	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.2%	8.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	1.9%	30.7%	38.1%	29.3%	2616.92	
Guinea	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.6%	0.5%	3.6%	15.5%	85.3%	10216.5	
Liberia	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	9.1%	41.2%	42.0%	2882.55	
Nigeria	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.6%	-	25.0%	29.1%	3.4%	4.8%	31.1%	26.4%	889.28	
Sierra Leone	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	3.9%	12.2%	8.1%	34.6%	49.4%	41829.76	
ECOWAS-Non UEMOA	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	3.9%	3.9%	12.2%	8.1%	34.6%	49.4%	41829.76
ECOWAS	0.1%	0.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	5.2%	9.3%	8.3%	16.1%	40.0%	42.4%	68921.2	

DOTと100%を計算

Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Netherlands, Portugal, Spain, Luxembourg.

Austria, Belgium

DOTより筆者計算。

Euro:Austria, Belgium, Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Netherlands, Portugal, Spain, Luxembourg.

→輸出

Appendix V

第Ⅲ期 (2002-2006) 輸出

%	Benin	Burkina Faso	Côte d'Ivoire	Guinea-Bissau	Mali	Niger	Senegal	Togo	UEMOA	Cape Verde	Gambia	Ghana	Guinea	Liberia	Nigeria	Sierra Leone	ECOWAS-UEMOA	ECOWAS non UEMOA	United Kingdom	France	Euro (France 含む)	その他	World (百万ドル)
Benin	-	1.0%	1.1%	0.0%	1.6%	4.6%	0.7%	4.0%	12.6%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	6.4%	0.0%	8.6%	21.5%	0.5%	2.2%	11.2%	66.8%	1483.15
Burkina Faso	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	2.5%	3.5%	1.5%	7.9%	17.9%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	12.0%	49.5%	1483.15
Côte d'Ivoire	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.5%	0.2%	0.2%	2.2%	0.9%	0.8%	7.1%	0.7%	12.2%	22.8%	0.0%	18.6%	12.0%	49.5%	32388.07
Guinea-Bissau	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.5%	0.1%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	14.0%	0.0%	14.9%	15.5%	0.0%	0.1%	5.2%	70.3%	517.63
Mali	0.0%	1.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.3%	2.4%	1.9%	3.3%	18.8%	76.9%	1244.41
Niger	0.8%	0.5%	1.2%	0.0%	0.0%	0.4%	-	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	3.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	27.3%	0.1%	39.7%	42.3%	27.2%	316.56
Senegal	1.7%	1.5%	3.3%	2.8%	14.0%	0.3%	-	1.1%	27.6%	0.2%	4.5%	0.3%	2.6%	0.4%	2.5%	0.4%	8.7%	33.3%	0.6%	10.3%	27.6%	38.6%	6100.64
Togo	10.6%	15.0%	0.8%	0.0%	6.9%	3.2%	1.1%	-	34.6%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	0.1%	0.3%	0.0%	20.3%	57.9%	0.1%	2.0%	14.7%	27.3%	2004.69
UEMOA	1.7%	3.0%	1.6%	0.4%	4.0%	0.9%	1.1%	1.4%	13.1%	0.2%	0.9%	2.7%	0.9%	0.6%	6.1%	0.5%	11.9%	25.0%	2.0%	15.7%	38.0%	35.0%	46741.8
Cape Verde	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	-	0.0%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.7%	0.8%	10.9%	9.6%	70.9%	18.3%	135.13
Gambia	0.3%	0.0%	0.1%	1.7%	0.2%	0.0%	0.3%	1.9%	4.1%	4.3%	0.0%	-	1.1%	0.6%	0.0%	0.2%	1.9%	6.2%	17.1%	9.6%	27.8%	48.9%	151.97
Ghana	2.5%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.3%	0.5%	0.4%	4.9%	0.0%	0.1%	-	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	1.4%	6.2%	9.4%	5.9%	37.4%	47.0%	11126.55
Guinea	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.2%	0.4%	2.4%	5.3%	9.1%	34.5%	57.9%	4707.45
Liberia	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.9%	1.1%	3.5%	53.1%	44.9%	5128.42
Niger	0.1%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.1%	0.6%	0.2%	3.5%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	-	1.9%	1.5%	0.5%	4.1%	21.0%	75.0%	173085.5
Sierra Leone	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.3%	-	1.8%	1.5%	1.4%	0.6%	74.2%	71.7%	834.94
ECOWAS-Non UEMOA	0.2%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.6%	0.2%	3.5%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.8%	1.5%	1.2%	4.3%	23.2%	20.1%	195170.8
ECOWAS	0.5%	0.6%	1.9%	0.1%	0.8%	0.3%	0.7%	0.4%	5.3%	0.0%	0.2%	1.9%	0.2%	0.1%	1.2%	0.1%	3.8%	9.1%	1.3%	6.5%	26.2%	63.4%	241911.8

DOTより筆者計算。

Euro: Austria, Belgium, Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Netherlands, Portugal, Spain, Luxembourg.

←輸入

Appendix VI

第Ⅲ期 (2002-2006) 輸入

%	Benin	Burkina Faso	Côte d'Ivoire	Guinea-Bissau	Mali	Niger	Senegal	Togo	UEMOA	Cape Verde	Gambia	Ghana	Guinea	Liberia	Nigeria	Sierra Leone	ECOWAS-Non UEMOA	ECOWAS	United Kingdom	France	Euro (France 含む)	その他	World (百万ドル)
Benin	-	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	3.1%	9.1%	0.0%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	7.1%	16.1%	3.7%	14.7%	26.4%	53.7%	6825.23
Burkina Faso	0.3%	-	22.0%	0.0%	0.4%	0.2%	2.0%	6.8%	31.7%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	33.1%	0.6%	26.3%	39.7%	26.6%	4894.07
Côte d'Ivoire	0.1%	0.0%	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.1%	21.6%	0.0%	22.2%	23.1%	3.3%	28.1%	40.5%	33.1%	22573.43
Guinea-Bissau	0.0%	0.0%	2.3%	-	0.0%	0.0%	23.3%	0.0%	25.7%	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	26.2%	0.8%	2.9%	42.3%	30.7%	809.87
Mali	0.3%	0.4%	9.6%	0.0%	-	0.1%	10.3%	1.7%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	23.6%	1.1%	13.7%	25.0%	51.3%	9218.02
Niger	2.7%	2.0%	7.9%	0.0%	0.1%	-	0.5%	1.9%	15.1%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	7.6%	0.0%	8.7%	23.8%	1.6%	14.3%	27.3%	47.3%	3326.07
Senegal	0.1%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.1%	3.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.1%	0.0%	9.3%	0.0%	9.9%	13.2%	3.0%	24.5%	43.7%	40.1%	13808.59
Togo	1.2%	0.7%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	-	7.7%	0.0%	0.0%	0.9%	0.1%	0.0%	0.6%	0.0%	1.7%	9.4%	6.8%	13.7%	33.5%	50.1%	4706.44
UEMOA	0.3%	0.2%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	1.2%	3.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.1%	0.1%	10.0%	0.0%	11.1%	20.1%	2.9%	21.8%	36.1%	40.7%	16611.72
Cape Verde	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	3.1%	5.9%	3.5%	71.4%	23.2%	66161.72
Gambia	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	10.8%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	1.7%	5.4%	3.0%	17.6%	34.8%	2812.18
Ghana	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.61
Guinea	0.3%	0.0%	3.9%	0.8%	2.1%	0.2%	0.0%	0.0%	3.3%	0.7%	5.2%	0.0%	0.0%	0.3%	14.1%	0.9%	16.1%	19.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2883.95
Liberia	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	1.9%	0.0%	0.3%	12.4%	86.1%	27076.1
Niger	0.1%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	-	2.8%	2.8%	0.3%	5.1%	26.4%	65.4%	97917.86
Sierra Leone	0.0%	0.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.1%	0.9%	0.0%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%	0.0%	-	1.4%	10.9%	8.9%	4.2%	35.3%	44.8%	2789.91
ECOWAS-Non UEMOA	0.1%	0.1%	2.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%	3.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	2.2%	0.4%	6.3%	5.8%	5.8%	4.2%	23.2%	65.7%	164486.6
ECOWAS	0.2%	0.1%	2.9%	0.1%	0.1%	0.1%	0.9%	0.6%	4.9%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	4.5%	0.3%	5.3%	10.2%	4.9%	9.3%	26.3%	58.5%	230648.3

DOTより筆者計算。

Euro: Austria, Belgium, Finland, France, Germany, Eastern Germany, Greece, Ireland, Italy, Netherlands, Portugal, Spain, Luxembourg.

AppendixⅦ：ECOWAS諸国のマクロ経済指標 2007

UEMOA加盟国

	ベナン	ブルキナ ファソ	コートジ ボワール	ギニア ビサウ	マリ	ニジェール	セネガル	トーゴ
人口(千人)	9,038 (3.2)	14,784 (5.2)	19,262 (6.8)	1,695 (0.6)	12,337 (4.4)	14,226 (5.0)	12,379 (4.4)	6,585 (2.3)
GDP(百万ドル)	5,538 (2.7)	7,135 (3.5)	19,810 (9.6)	357 (0.2)	7,113 (3.5)	4,280 (2.1)	10,946 (5.3)	2,537 (1.2)
1人あたりGDP	613	483	1,028	211	577	301	884	385
輸出(対GDP %)	5.5	7.3	47.8	26.8	24.4	16.1	16.5	27.4
輸入(対GDP %)	16.2	19.6	29.8	37.0	23.1	21.2	32.7	48.1
対外債務(10億ドル)	1.2 (2.7)	2.4 (5.4)	19.3 (43.1)	1.0 (2.2)	1.9 (4.2)	0.7 (1.6)	4.7 (10.5)	1.7 (3.8)
対外債務(対GDP %)	21.3	33.9	104.6	286.3	28.5	17.5	43.9	73.0
債務サービス(対輸出%)	5.0	5.3	16.1	11.5	3.6	1.4	8.0	0.0

非UEMOA加盟国

	カーボヴェ ルデ	ガンビア	ガーナ	ギニア	リベリア	ナイジェ リア	シェラ レオネ	合計
人口(千人)	530 (0.2)	1,709 (0.6)	23,478 (8.3)	9,370 (3.3)	3,750 (1.3)	148,093 (52.3)	5,866 (2.1)	283,102 (100.0)
GDP(百万ドル)	1,397 (0.7)	640 (0.3)	14,830 (7.2)	4,743 (2.3)	716 (0.3)	124,000 (60.3)	1,668 (0.8)	205,711 (100.0)
1人あたりGDP	2,634	375	632	506	191	837	284	727
輸出(対GDP %)	6.3	23.5	27.4	23.5	26.2	49.8	20.2	—
輸入(対GDP %)	47.1	69.6	51.4	25.4	63.2	29.0	30.2	—
対外債務(10億ドル)	0.8 (1.8)	0.3 (0.7)	5.7 (12.7)	2.9 (6.5)	0.7 (1.6)	0.7 (1.6)	0.8 (1.8)	44.8 (100.0)
対外債務(対GDP %)	52.1	81.6	47.3	63.4	102.3	2.7	54.0	21.9
債務サービス(対輸出%)	10.7	31.4	3.8	13.3	—	3.1	3.6	—

注：人口、GDP、対外債務の括弧内はECOWAS全体に対する比率。

出所：African Development Bank (2008), *Selected Statistics on African Countries 2008*.

参考文献リスト

報告書

UEMOA, *Rapport Semestriel d'Execution de la Surveillance Multilaterale*, 2000-2006.

UEMOA, *Rapport Annuel de la Commission* 2006.

UEMOA, *Rapport Annuel de la Commission* 2007.

BCEAO, *Perspectives Economiques des Etats de l'UEMOA en 2006*.

統計

BCEAO, *Annuaire Statistique*, 2004.

BCEAO, *Perspectives Economiques des Etats de l'UEMOA en 2006*, Annexes

IMF, International Financial Statistics.

IMF, World Economic Outlook Database, April 2007.

論文

- African Development Fund (2008). *WAMZ Payment System Development Project (The Gambia, Guinea and Sierra Leone)*, Appraisal Report, April 2008.
- Adedeji, A. (1970). "Prospects of Regional Economic Co-operation in West Africa", *The Journal of Modern African Studies*, 213-31.
- Bach, D. (1983). "The Politics of West African Economic Co-operation:CEAO and E.C.O.W.A.S.", *The Journal of Modern African Studies*, 21(4), 305-623.
- Banque de France (2002). "La Zone Franc", *Note d'information* No.127, Avril 2002 : 1 - 20.
- Bénassy-Quéré, A. and Coupet, M. (2005). "On the Adequacy of Monetary Arrangements in Sub-Saharan Africa", *The World Economy*, 28(3), 349-373.
- Facinet, S. and Allieu, S. (2007). "Is the fiscal Criterion achievable in the WAMZ?", *WAMI Working Paper*, 2007 August.
- Goretti, M. and Weisfeld, W. (2008). "Trade in the WAEMU: Developments and Reform Opportunities", *IMF Working Paper*, WP/08/68.
- Coulibaly, G. and Plunket, D.J. (2006). "Lessons from the Implementation of the WAEMU/UEMOA Common External Tariff since 2000 for the Implementation of the ECOWAS Common External Tariff by the end of 2007", *Les Great Cahiers*, No.17, USAID and AIRD.
- 今林直樹 (1996) 「フランス共同体の成立」『神戸大学六甲台論集, 法学政治学編』42巻 2号, 29-62。
- 正木響 (1997) 「CFAフランのシステムとUEMOA諸国の経済成長」『アフリカ研究』(日本アフリカ学会) 第50号, 29-51.
- 正木響 (2008) 「UEMOAと実質実効為替レート (1999-2006)」『金沢大学経済学部論集』第28巻, 第2号。
- MASAKI, T. (2008). Trade partners and the real effective exchange rates of UEMOA countries (1999-2006), *Discussion Papers Series, No.10*, Faculty of Economics, Kanazawa University.
- 室井義雄 (1985). 「西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS) における「通貨交換性」問題について」『アジア経済』, 第26巻第2号, 70-89。
- Nnanna, O.J. (2007). "ECO Currency: Is a Third Postponement Avoidable", *West African Journal of Monetary and Economic Integration*, Vol.7, No.1, Accra.
- 落合雄彦 (2002) 『西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS)』国際協力事業団・国際協力総合研修所。
- 岡田昭男 (1995) 『フラン圏の形成と発展』(財) 国際協力推進協会。
- 杉本喜美子 (2007). 「西アフリカの通貨統合—是非と展望—」『アフリカレポート』, No.45, 9-14。

- Sylla, F. and Sesay, A. (2007). "Is the Fiscal Criterion Achievable in the WAMZ?" *WAMI Working Paper*, Accra.
- Tsangarides, C.G. and Qureshi, M.S. (2008). "Monetary Union Membership in West Africa: A Cluster Analysis", *World Development*, Vol.36, no.7.
- Ukaoha, K. (2008). "ECOWAS CET: the imperatives of Nigeria's fifth Band", *Trade Negotiations Insights, Switzerland*, Vol.7, No.4
- Veyrune, R. (2007). "Fixed Exchange Rates and the Autonomy of Monetary Policy: The Franc Zone Case", *IMF Working Paper*, WP/07/34: 1-23.
- WAMI (2006). "Quoting and Trading in WAMZ Local Currencies", *WAMI Working Paper*, September, Accra.
- WAMI (2007a). *WAMZ News*, Vol.1, Issue, 1, Accra, Ghana.
- WAMI (2007b). *20th Meeting of the Convergence Council of Ministers and Governors of Central Banks of the West African Monetary Zone (WAMZ), Final Report*, WAMZ / CC/ 20, Abuja, Nigeria.
- WAMI (2007c). *Memorandum on the Prospects of a Harmonized Approach to a Single Currency for the ECOWAS*, Accra, Ghana.
- WAMI (2007d). Is the fiscal criterion achievable in the WAMZ?, *WAMI Working Paper*, Accra, Ghana.
- Zouhon-Bi, S.G. and Nielsen, L. (2007). "The Economic Community of West African States", *World Bank Policy Research Working Paper 4266*, June 2007.

